

令和6年度

技能検定事務要領

(随時2級・随時3級・基礎級)



〒520-0865

滋賀県大津市南郷五丁目2番14号

電話 077 (533) 0850 / F A X 077-537-1351

ホームページアドレス <https://shiga-nokaikyo.or.jp/>

能力開発課

令和6年4月

目 次

はじめに	3
令和6年度技能検定実施職種（作業）一覧等	4
第1章 技能検定受検の事務手続きについて	6
1 受検の流れ	6
2 事務手続き	7
(1) 受検者登録	7
(2) 受検日程の調整等	7
(3) 技能検定申請書等の提出（受検準備）	9
(4) 試験の実施	9
(5) 試験終了後の事務	10
第2章 試験の実施について	10
1 秘密の保持	10
(1) 秘密の保持義務	10
(2) 秘密を保持すべき事項	10
(3) 技能検定委員の秘密文書の取扱い	11
2 技能検定委員	11
(1) 技能検定委員とは	11
(2) 技能検定委員の推薦	11
(3) 技能検定委員の選任基準	11
(4) 技能検定委員に係る留意点	12
3 試験会場の準備と試験の実施	13
(1) 会場・設備、機器、採点器具等の準備、支給材料の調達	13
(別表) 技能検定試験において免許、特別教育等が必要な職種（作業）一覧	14
(2) 実技試験の実施	15
(3) 学科試験の実施	16
(4) 合格発表	16
(5) 支給材料費の請求	17
第3章 受検申請について	19
1 受検申請関係書類	19
(1) 随時2級・随時3級の受検申請書類	19
(2) 基礎級の受検申請書類	19
2 受検手数料の支払い	20
(1) 受検手数料	20
(2) 振込銀行口座	20
(3) その他	21
3 受検申請関係書類記載例	21
4 技能検定申請書等の入力または記入時の注意点	21
5 書類記入チェックシート	22

第4章 其他関連情報	23
1 よくある質問	23
2 過去問題等の提供	24
(1) コピーサービス	24
(2) ホームページ上での閲覧	24
3 実技試験材料の斡旋	24
様式等	25
技能検定 申請書 (記載例)	25
技能検定 申請書	26
技能検定 写真票 (記載例)	28
技能検定 写真票	29
基礎級 試験日程調整用紙 (記載例)	30
随時3級 (随時2級) (記載例)	31
試験日程カレンダー	32
令和5年度 (随時2級・随時3級・基礎級) 技能検定実施計画書 (記載例)	33
令和4年度 (随時2級・随時3級・基礎級) 技能検定実施計画書 ※R5より不要	34
推薦書・履歴書 (随時2級・随時3級) (記載例)	35
推薦書・履歴書 (随時2級・随時3級)	36
技能検定試験会場案内図 (記載例)	37
技能検定試験会場案内図	38
基礎級・随時3級・随時2級 技能検定試験問題コピーサービス申込書	39
金属プレス作業用金型 貸出し要領	42
技能検定試験報告書兼技能検定委員手当請求書	44
令和6年度 随時2・3級・基礎級 中央斡旋材料等一覧	45

はじめに

外国人技能実習生の技能検定（随時級等技能検定）の受検申請及び試験の実施に関する事項を本事務要領にまとめました。

随時級等技能検定は、本協会等で実施する一部の作業を除き、実習生受入企業を試験会場として、受入企業の機械設備等を利用し、個別に日程を調整して実施しています。

監理団体等（第一次受入団体）には、機械設備、測定器具、試験材料の調達等試験会場の準備、試験日程の調整に加え、令和2年度11月からは、随時2級、随時3級の一部の職種、作業について技能検定委員の推薦及び日程調整等について協力をお願いしております。

本冊子の要領に沿って事務手続きを進めていただき、円滑に試験が実施できますようご協力をお願いいたします。

滋賀県職業能力開発協会

令和6年度技能検定実施職種（作業）一覧等

随時2級・随時3級 実施する検定職種（50職種75作業） 基礎級 53職種86作業

※基礎級の技能検定委員は当協会において予め選任しております。

随時2級・随時3級について、技能検定委員の推薦が難しい場合はご相談ください。

職種名	作業名	技能検定委員	試験会場
鋳造	鋳鉄鋳物鋳造	推薦	受入企業等
	非鉄金属鋳物鋳造	推薦	受入企業等
鍛造	ハンマ型鍛造	推薦	受入企業等
	プレス型鍛造	推薦	受入企業等
機械加工	普通旋盤	協会選任	受入企業等
	数値制御旋盤	協会選任	受入企業等
	フライス盤	協会選任	受入企業等
	マシニングセンタ	協会選任	受入企業等
金属プレス加工	金属プレス	協会選任	受入企業等
鉄工	構造物鉄工 ※基礎級:協会	協会選任	テクノカレッジ米原
建築板金	内外装板金	推薦	受入企業等
	ダクト板金	推薦	受入企業等
工場板金	機械板金	協会選任	受入企業等
めっき	溶融亜鉛めっき 基礎級会場:受入企業等	協会選任	協会
	電気めっき	推薦	受入企業等
仕上げ	治工具仕上げ	協会選任	受入企業等
	金型仕上げ	協会選任	受入企業等
	機械組立仕上げ	協会選任	受入企業等
機械検査	機械検査	協会選任	協会
ダイカスト	コールドチャンバダイカスト	推薦	受入企業等
電子機器組立て	電子機器組立て	協会選任	協会
電気機器組立て	回転電機組立て	推薦	受入企業等
	変圧器組立て	推薦	受入企業等
	配電盤・制御盤組立て	協会選任	受入企業等
	開閉制御器具組立て	推薦	受入企業等
	回転電機巻線製作	推薦	受入企業等
プリント配線板製造	プリント配線板設計	協会選任	協会
	プリント配線板製造	協会選任	協会
冷凍空気調和機器施工	冷凍空気調和機器施工	推薦	受入企業等
染色	織物・ニット浸染	推薦	受入企業等
ニット製品製造	丸編みニット製造	推薦	受入企業等
婦人子供服製造	婦人子供既製服縫製	協会選任	協会
紳士服製造	紳士既製服製造	協会選任	協会
寝具製作	寝具製作	推薦	受入企業等
帆布製品製造	帆布製品製造 ※基礎級:協会	推薦	受入企業等
布はく縫製	ワイシャツ製造	協会選任	協会
家具製作	家具手加工	推薦	受入企業等

職種名	作業名	技能検定委員	試験会場
建具製作	木製建具手加工	推薦	受入企業等
紙器・段ボール箱製造	印刷箱打抜き	推薦	受入企業等
	印刷箱製箱	推薦	受入企業等
	貼箱製造	推薦	受入企業等
	段ボール箱製造	推薦	受入企業等
印刷	オフセット印刷	推薦	受入企業等
製本	製本	推薦	受入企業等
プラスチック成形	圧縮成形 ※基礎級:協会	随3:協会選任 随2:推薦	受入企業等
	射出成形	協会選任	協会
	インフレーション成形	随3:協会選任	受入企業等
	ブロー成形 ※基礎級:協会	随2:推薦	受入企業等
強化プラスチック成形	手積み積層成形	推薦	受入企業等
石材施工	石材加工	推薦	受入企業等
	石張り	推薦	受入企業等
パン製造	パン製造	推薦	受入企業等
ハム・ソーセージ・ベーコン製造	ハム・ソーセージ・ベーコン製造	推薦	受入企業等
水産練り製品製造	かまぼこ製品製造	推薦	受入企業等
建築大工	大工工事 ※基礎級:協会	協会選任	テクノカレッジ米原
かわらぶき	かわらぶき	推薦	受入企業等
とび	とび	協会選任	随時級:協会指定 基礎級:受入企業等
左官	左官	推薦	受入企業等
築炉	築炉	推薦	受入企業等
タイル張り	タイル張り	推薦	受入企業等
配管	建築配管	推薦	受入企業等
	プラント配管	推薦	受入企業等
型枠施工	型枠工事 ※基礎級:受入企業等	協会選任	テクノカレッジ米原
鉄筋施工	鉄筋組立て	推薦	受入企業等
コンクリート圧送施工	コンクリート圧送工事※基礎級:受入企業等	協会選任	協会
防水施工	シーリング防水工事	推薦	協会・受入企業等
内装仕上げ施工	プラスチック系床仕上げ工事	推薦	受入企業等
	ボード仕上げ工事	推薦	受入企業等
熱絶縁施工	保温保冷工事	推薦	受入企業等
サッシ施工	ビル用サッシ施工	推薦	受入企業等
表装	壁装	推薦	受入企業等
塗装	建築塗装	推薦	受入企業等
	金属塗装	推薦	受入企業等
	鋼橋塗装	推薦	受入企業等
	噴霧塗装	推薦	受入企業等
工業包装	工業包装	推薦	受入企業等

第1章 技能検定受検の事務手続きについて

1 受検の流れ

※ ○数字は説明番号

受入企業	監理団体等	外国人技能実習機構	職業能力開発協会
①委託 →	②受検者登録 →	③承認 ←	④受検者情報取得
←	⑥試験日程調整 試験希望月の概ね2か月前 ・試験日程調整用紙送付	←	⑤受検案内 ・試験日程調整用紙 ・実技試験実施要領 ・実技試験問題
※事前準備 技能検定委員（候補者）の人選・設備、機器等が確保できる会場の手配 等			⑦試験実施日を決定 ・連絡（FAX等）
	⑧技能検定申請書等作成 ・技能検定申請書等 ・ 技能検定実施計画書 ・履歴書（検定委員が協会選任の場合不要） ・試験会場案内図 ・受検手数料の納付（写）	—【ダウンロード】→ 試験実施日決定後、速やかに送付 （試験実施日の30日前まで）	⑨受検票等送付 ・実技試験問題 ※検定委員委嘱状 採点基準 ↓（試験当日手渡し）
⑩受検準備 ← ・材料（前加工等含） ・工具類 ・実習生試験準備	←	←	技能検定委員
⑪受検 （協会 or 受入企業）	⑪受検 （協会 or 受入企業）		⑪試験実施 （協会 or 受入企業） ⑫採点 ・結果報告 ・採点基準等返却
	⑭報告 ←	←	↓ ⑬確認 ・不合格の場合
←	→再受検の有無等調整 再受検の場合、協会へ連絡し、②以降の手続きへ	←	⑮実施結果の報告 ←↓
	在留延長手続き等 ←	受検支援サイトへ 結果登録 （1月後） ←	滋賀県商工観光労働部 労働雇用政策課 ⑯技能検定合格決定 ・合格証書送付 ※一部合格通知は協会で作成・送付

2 事務手続き

※P6「1. 受検の流れ」と併せてご覧ください。

(1) 受検者登録

- ① 受入企業から委託等を受けた監理団体等が②外国人技能実習機構の受検支援手続サイトから受検者情報を登録します。

※外国人技能実習機構の受検手続支援サイト (<https://www.juken.otit.go.jp/>)

(登録方法は、同サイトでマニュアルを確認)

[事前準備]

- ・ 技能検定委員(候補者)の人選(随時2級・随時3級で予め示した職種・作業(P4参照))
 - ※ 令和2年11月以降に実施する試験(令和2年10月1日以降に当協会から受検案内を行うものから)において、監理団体等からの技能検定委員の推薦により選任
 - ※ 基礎級及び上記以外の随時2級・随時3級の職種・作業は滋賀県職業能力開発協会(当協会)が技能検定委員を選任
- ・ 試験に必要な設備、機器等が確保できる会場の手配

※外国人技能実習生の受入企業が滋賀県外の場合については、該当する府県で受検ください。

(2) 試験日程の調整等

- ④ 当協会は、外国人技能実習機構に登録、承認された受検者情報を定期的に取り得します。
- ⑤ 当協会から外国人技能実習機構に登録された試験希望月の3か月前になりましたら、受検案内及び試験日程調整用紙、実技試験実施要領、実技試験問題(要領・問題は、監理団体、受入企業、検定委員で共用)を送付しますので、監理団体等は技能検定申請書、技能検定写真票、技能検定実施計画書、推薦書・履歴書、技能検定試験会場案内図等を当協会のホームページからダウンロードしてください。

(申請書及び写真票は当協会から送付する用紙に印刷(基礎級：もえぎ(緑)、随時3級：空(青)、随時2級：クリーム(黄)))

- ⑥ 監理団体等は受入企業と試験希望日程を調整し、試験日程調整用紙に記入の上、試験希望日の概ね2か月前に協会へ送付します。(FAX可)

基礎級 : 第3希望日まで提出(受検推奨時期：計画満了日の3か月前まで)

随時2級・3級 : 第3希望日までと検定実施不可日提出

(希望日に添えない場合、当協会が試験日を指定)

: テクノカレッジ米原等、特定の場所で試験を実施する場合(大工工事
構造物鉄工・型枠工事)：予め設定した日(2カ月に1回程度設定)

(随時2級：受検推奨時期：計画満了日まで)

(随時3級：受検推奨時期：計画満了日の6か月前まで(3号へ移行される場合))

※ 試験実施日の目安は、上記のとおりとなっておりますが、予約状況によっては実習期間終了の直前になることもありますので、ご了承ください。

※ 試験希望日の3か月以上前に、試験日の日程調整はできません。

(例：9/1～9/25→10月・11月の試験日程を調整・9/26～10/25→11月・12月の試験日程を調整(以降同様に調整))

- ⑦ 監理団体等から送付された試験日程調整用紙により試験実施日を決定し、FAX等により監理団体等へ連絡

※ 試験日程調整上の注意

ア 機械検査作業を受検される場合：午後からの試験実施

イ 10人以上で受検される場合・電子機器組立て作業(随時3級)：午前からの試験実施

ウ 受検後、合格証書を送付するまでに1か月程度、要するため、受検（再試験含む）時期を考慮願います。

エ 毎月初日（土日祝祭日を除く）・6月1週目・12月1週目：日程調整会議等がありますので、試験希望日程から除外してください。（P32 カレンダー参照）

オ 6月2週目～8月中旬頃まで：前期技能検定に射出成形機を使用します。随時2級、随時3級の射出成形作業の試験が当協会では実施できませんので、ご注意ください。

カ 早期の受検を希望される場合がありますが、十分な実習期間を確保した上で、受検してください。

第1号⇒第2号

入国		
↓		
第1号 技能 実習	1～2か月	⇒ 講習（原則2か月間）
	3～6か月	⇒ 受検申請連絡 監理団体⇒外国人技能実習機構⇒都道府県協会 ※遅くとも終了の6か月前まで
	7か月半	⇒ 第2号技能実習移行希望申請 監理団体⇒外国人技能実習機構
	9～10か月	⇒ 受検 ※受検は2回までとする ※第1号技能実習生は、原則として第1号技能実習期間の9月を経過した時点で検定等を受けること
	11～12か月	⇒ 在留資格変更の申請 （都道府県協会の合否判定後、速やかに都道府県協会⇒外国人技能実習機構に、合否判定の結果を通知。それと並行して、都道府県⇒監理団体に、合格証書を送付）

↓

第2号技能実習

第2号⇒第3号

第2号 技能 実習	1～12か月	⇒ 受検申請連絡 監理団体⇒外国人技能実習機構⇒都道府県協会 ※遅くとも終了の12か月前まで
	13～16か月	
	13～16か月半	⇒ 第3号技能実習移行希望申請 監理団体⇒外国人技能実習機構
	13～22か月	⇒ 受検 ※受検は2回までとする ※第2号技能実習生も、原則として第2号技能実習期間の18月を経過した時点で検定等を受けること
	23～24か月	⇒ 在留資格変更の申請 （都道府県協会の合否判定後、速やかに都道府県協会⇒外国人技能実習機構に、合否判定の結果を通知。それと並行して、都道府県⇒監理団体に、合格証書を送付）

↓

一旦帰国
（1か月以上）
（第3号技能実習
開始前又は開始後
1年以内）

特定技能1号

第3号

第 3 号 技 能 実 習	1～12 か月	⇒	受検申請連絡 監理団体⇒外国人技能実習機構⇒都道府県協会 ※遅くとも終了の12か月前まで
	13～22 か月	⇔	受検 ※受検は2回までとする
	23～24 か月	⇒	(都道府県協会の合否判定後、速やかに都道府県協会⇒外国人技能実習機構に、合否判定の結果を通知。また、都道府県⇒監理団体に、合格証書を送付)
↓		↘	
帰国			特定技能1号

(3) 技能検定申請書等の提出（受検準備）

- ⑧ 試験実施日が決まりましたら、速やかに（試験実施日の30日前まで）技能検定申請書、技能検定写真票、推薦書・履歴書（技能検定委員推薦の場合のみ）・試験会場案内図を作成の上、協会へ送付し、併せて受検手数料を納付（振込用紙の写し等送付・P20・2. (1) 注意要）します。
- ⑨ 当協会は、⑧が送付された後、速やかに（試験実施日の概ね30日前まで）に受検票を作成し、実習生分の実技試験問題とともに監理団体等へ送付しますので、受入企業へ関係書類をお渡しください。
- ※ 試験当日、受検票及び実技試験問題（書き込みしていないもの（一部書き込み可の作業有））、筆記具等は、試験当日必ず持参ください。
- また、推薦のあった技能検定委員の委嘱状、技能検定試験報告書兼技能検定委員手当請求書を技能検定委委員へ送付します。
- ⑩ 受入企業は、関係書類を確認し、材料、工具等、試験に必要なものを準備するとともに、実習生への研修、機械設備の確認等、受検準備をしてください。

(4) 試験の実施

- ⑪ 当協会又は受入企業において、技能検定委員は、実技試験問題に基づき実技試験を行い、その後、協会職員等が学科試験を実施します。
- ⑫ 技能検定委員は、試験終了後、採点を行い、採点基準等（当日手渡し）、全ての書類及び「技能検定試験報告書兼技能検定委員手当請求書」（P44）を協会職員等へ手渡してください。
- ⑬ 当協会にて採点結果を確認し、受検した試験が合格点に満たなかった場合は、再受検の日程調整のため、原則として試験日から1週間以内に監理団体等へ連絡します。
- （試験実施日の翌週中に外国人技能実習機構の受検手続支援サイトに合否登録を行いますので、当協会への電話での問い合わせはご遠慮願います。）
- 実技試験、学科試験の一方又は両方の不合格者は、1回に限り再受検することができますので、監理団体等は、⑭試験結果を受入企業へ連絡し、再受検の有無を決定し、再度受検される場合は、(1)からの手順と同様の受検手続きを行ってください。
- ※ 学科試験のみの場合は、当協会にて実施します。
- ※ 基礎級は、再試験が不合格の場合、技能実習1号から2号への移行はできません。随時3級は、再試験で実技試験が不合格の場合、技能実習2号から3号への移行ができません。十分な試験対策を行い、受検されますようお願いいたします。

(5) 試験終了後の事務

- ・ 当協会は、⑮受検結果を取りまとめて（原則として1週間分を翌週）滋賀県へ報告し、滋賀県（商工観光部労働雇用政策課）において、⑯合格決定を行い、合格証書を監理団体等へ送付します。

※一部合格通知（実技・学科それぞれのみ）は当協会で作成し、監理団体等へ送付します。

※受検結果は、外国人技能実習機構の受検手続支援サイトへ併せて登録します。

- ・ 当協会は一部の職種・作業において、試験実施にかかる支給材料費を1月毎に取りまとめて監理団体等へお支払いしておりますので、請求用紙が届きましたら、内容を確認し、押印の上、当協会まで返送してください。（詳細はP 17 参照）

第2章 試験の実施について

1 秘密の保持

故意、過失を問わず、検定秘が外部に漏洩してしまうと、当県のみならず、他都道府県で実施された同作業の技能検定試験の有効性が問われる可能性があり、その影響は多大なものとなります。技能検定の実施に携わる者及び携わった者は、職務上知ることができた秘密事項について、次のとおり秘密保持義務が課されますので取り扱いには十分にご留意ください。

(1) 秘密の保持義務

職業能力開発促進法第100条により、下記の同法第89条第1項の規定に違反した者は、6か月以下の懲役又は30万円以下の罰金に処せられます。

職業能力開発促進法（抜粋）

（都道府県協会の役員等の秘密保持義務等）

第八十九条 都道府県協会の役員若しくは職員（都道府県技能検定委員を含む。）又はこれらの職にあつた者は、第八十二条第二項の規定により都道府県協会が行う技能検定試験に関する業務に係る職務に関して知り得た秘密を漏らし、又は盗用してはならない。

2 第八十二条第二項の規定により都道府県協会が行う技能検定試験に関する業務に従事する都道府県協会の役員及び職員は、刑法その他の罰則の適用については、法令により公務に従事する職員とみなす。

(2) 秘密を保持すべき事項

- ① 実技試験の試験問題及びその正解並びに学科試験の試験問題及び正解。
ただし、事前に公表したもの及び試験終了後公開したものを除く。
- ② 実技試験採点基準（実技試験採点用紙及び得点表を含む。）
- ③ 実技試験及び学科試験の答案。
- ④ 実技試験の作品、ただし、採点を終えた後は受検者に返却することとされているものであって、当該採点を終えたものを除く。
- ⑤ 技能検定試験の可否、ただし、合格発表したものを除く。

《随時試験の留意点》

また、都道府県協会の可否判定後の可否情報について、外国人技能実習機構が運営する受検手続き支援サイトへ登録する場合及び、技能実習関係者に通知する場合は、秘密事項に該当しないものとする。

- ⑥ 受検者の氏名、ただし、合格発表に用いたものを除く。
- ⑦ 受検者の得点、ただし、合格発表後受検者個人の得点をその本人に知らせる場合を除く。

- ⑧ その他受検者の職歴（学歴、訓練歴を含む。）、所属事業所等、個人情報であって、当該個人を特定できる可能性があるもの。
- ⑨ その他厚生労働省人材開発統括官、都道府県知事、中央協会会長又は都道府県協会会長が秘密事項に定めたもの。

(3) 技能検定委員の秘密文書の取扱い

- ① 当該文書の複製や内容転記等を行わないこと。
- ② 当該文書を第三者に見られる恐れのある場所に放置しないこと。
- ③ 当該文書の持ち運びには、紛失等の事故が無いように十分注意すること。
- ④ 当該文書の紛失等の場合は、その旨を速やかに当協会に報告すること。

※以上に反した場合は、技能検定委員を解任されることがあります。

2 技能検定委員

(1) 技能検定委員とは

実技試験会場における実技試験の実施の任にあたり、試験会場における設備の点検、受検者に対する指示、採点等を行う者です。技能検定委員は、「技能検定に関し高い職見を有する者であって、当該検定職種（作業）について専門的な技能、技術又は学識経験を有する者」の中から当協会会長が選任し、その身分は当協会非常勤職員となります。

(2) 技能検定委員の推薦

技能検定委員は、随時2級及び随時3級の一部の職種、作業（P4：令和6年度技能検定実施職種（作業）一覧等）について、(3)の技能検定委員の選任基準に該当する方を監理団体等から推薦いただき、書類審査（履歴書）の上、当協会会長が選任します。

(3) 技能検定委員の選任基準

① 基礎級の技能検定委員

当協会ですべて選任しておりますので、監理団体等から推薦いただく必要はありません。

② 随時2級の技能検定委員

ア 当該検定職種（作業）の特級、1級又は単一等級の技能検定に合格した者であって、当該検定職種（作業）に関し15年以上の実務経験又は教育訓練の経験を有する者（技能系）

イ 次のいずれかに該当する者であって、当該検定職種（作業）の特級、1級又は単一等級の技能検定に合格した者と同等以上の技能又は技術を有する者。

- ・ 事業所等において、当該検定職種（作業）に関する管理部門、技術部門若しくは教育訓練部門の課長級以上の地位にある者又はこれらの地位にあった者（技術系）
- ・ 短期大学（高等専門学校及び旧専門学校を含む。）以上の学校、応用課程若しくは専門課程の高度職業訓練（旧養成訓練を含む。）、特定応用課程若しくは特定専門課程の高度職業訓練又は指導員養成課程若しくは高度養成課程の指導員養成訓練（旧指導員訓練を含む。）において、当該検定職種（作業）に関する学科を修めて卒業又は修了し、その後当該検定職種（作業）に関し10年以上の学識経験を有する者（学識経験には、学校、職業能力開発校（旧職業訓練校を含む）、職業能力開発大学校等において教育・訓練を行った経験を含む）（学識系）

ウ 上記ア又はイに掲げる者と同等以上の技能、技術又は学識経験を有する者。

③ 随時3級の技能検定委員

ア 当該検定職種（作業）の特級、1級の技能検定に合格した者であって、当該検定職種（作業）に関して5年以上の実務経験又は教育訓練の経験を有する者。（技能系）

イ 次のいずれかに該当する者であって、当該検定職種（作業）の特級、1級の技能検定に合格した者と同等以上の技能又は技術を有する者。

- ・ 事業所等において、当該検定職種（作業）に関する管理部門、技術部門若しくは教育訓練部門の課長級以上の地位にある者又はこれらの地位にあった者。（技術系）
- ・ 短期大学（高等専門学校及び旧専門学校を含む。）以上の学校、応用課程若しくは専門課程の高度職業訓練（旧養成訓練を含む。）、特定応用課程若しくは特定専門課程の高度職業訓練又は指導員養成課程若しくは高度養成課程の指導員養成訓練（旧指導員訓練を含む。）において、当該検定職種（作業）に関する学科を修めて卒業又は修了し、その後当該検定職種（作業）に関し5年以上の学識経験を有する者（学識経験には、学校、職業能力開発校（旧職業訓練校を含む）、職業能力開発大学校等において教育・訓練を行った経験を含む）（学識系）

ウ 当該検定職種（作業）の2級の技能検定に合格した者であって、当該検定職種（作業）に関し10年以上の実務経験又は教育訓練の経験を有する者。（技能系）

エ 上記アからウまでに掲げる者と同等以上の技能、技術又は学識経験を有する者。

※ 上記エに該当する者の例としては、客観的な指標による採点が可能な職種（紙器・段ボール箱製造職種・工業包装職種等）について、国、都道府県、中央協会又は都道府県協会において、技能検定の実施の実務に10年以上従事した者であって、都道府県協会長が適切と認める者がある。

(4) 技能検定委員に係る留意点

技能検定委員に関する留意点をまとめましたので、技能検定委員として推薦する前に、候補者に了解をいただってください。なお、受検者の所属する企業の方は選任できません。

- ① 技能検定業務に係る秘密保持義務が課されていること。
- ② 原則として1回の実技試験で受検者数が10人未満の場合、技能検定委員は1人でも差し支えないものとするが、10人以上の場合は、複数名とすること。
なお、複数名とした場合は、その中の1人を首席技能検定委員とすること。
- ③ 当該年度に行われる当該検定職種の技能検定試験は受検できないこと。
ただし、特級以外の技能検定委員であって、かつ、中央技能検定委員を兼任していない場合に限り、当該検定職種に係る特級の受検は認めることとする。
- ④ 技能検定委員は、当該検定職種（作業）の技能検定試験に先立って各種団体や事業所が実施する技能検定実技試験、学科試験に係る事前講習会や事前教育の講師とならないばかりか居合わせてもならないこと、及びこれらに係る教育関係資料の作成に一切関与しないこと。
- ⑤ 実技試験採点基準（検定秘）については、技能検定委員限りとし、試験開始から終了まで、他人の目に触れないように留意すること、また、実技試験採点基準等は、試験終了後必ず当協会職員等へ返却すること。

3 試験会場の準備と試験の実施

(1) 会場・設備、機器、採点器具等の準備、支給材料の調達

技能検定試験は、実技試験と学科試験を同一会場で同一日に実施します。

下記にご留意のうえ、試験実施の前日までに準備してください。

① 実技試験関係

ア 監理団体等は、一部の職種作業を除き実技試験実施要領及び実技試験問題に基づき、支給材料の調達、工具、試験台等の準備、機械設備の確保、確認、会場の設営等を行うこと。

イ 別表（P 14）の職種（作業）については、実技試験受検時に免許、特別教育が必要になりますので、試験当日に携帯していなければ受検できません。

※ 技能検定申請書を提出する際に写しを添付願います。

ウ 受検会場（P 4・P 5 参照）

〔基礎級〕

- ・ 構造物鉄工・機械検査・電子機器組立て・プリント配線板製造・婦人子供既製服縫製・紳士既製服製造・帆布製品製造・ワイシャツ製造・圧縮成形・射出成形・ブロー成形・大工工事作業 : 基本的に当協会の実施
- ・ 上記以外の作業 : 受入企業等

〔随時2級・3級〕

- ・ 溶融亜鉛めっき（随時3級）・機械検査・電子機器組立て・プリント配線板製造・婦人子供既製服縫製・紳士既製服製造・ワイシャツ製造・射出成形・コンクリート圧送工事（随時3級） : 基本的に当協会の実施
- ・ 大工工事・型枠工事 : 滋賀県立高等技術専門校 米原校（テクノカレッジ米原）
- ・ 構造物鉄工 : 滋賀県立高等技術専門校 米原校（テクノカレッジ米原）
草津校（テクノカレッジ草津）
- ・ とび : 協会指定場所
- ・ 上記以外の作業 : 受入企業等

エ その他

・ 金属プレス作業を受検される場合で、金型を借用される場合は、日程調整時にその旨、連絡願います。（受検日の概ね1週間前から借用可能・3台有）

※ P 4 2 金属プレス作業用金型 貸出し要領に基づき、技能検定申請書と同時に借用願を提出願います。

- ・ 複数名受検される場合は、人数分の材料、工具、機械類の準備をお願いします。
- ・ 随時2級・3級の射出成形作業を受検される場合で、練習のために射出成形機を使用される場合（日精樹脂工業株式会社製のNEX80V-12EG・2台・有料）は、その旨、連絡願います。

② 学科試験関係

- ・ 会場となる個室、会議室・受検者分の机、椅子・時計・ホワイトボード（黒板）・筆記用具（受検者用）

(別表) 技能検定試験において免許、特別教育等が必要な職種(作業)一覧
(随時2級・随時3級・基礎級 R6年度実施分)

No.	職種(作業)名	等級	該当内容	試験当日の対応
1	金属プレス加工 (金属プレス作業)	随時2級 随時3級	動力プレスの 金型取付け等	特別教育受講修了証等の確認 又は自己申告書への署名
2	鉄工 (構造物鉄工作業)	随時2級 随時3級	ガス溶接	ガス溶接作業主任者免許証、 ガス溶接技能講習修了証等 の資格証の確認
			アーク溶接	特別教育受講修了証等の確認 又は自己申告書への署名
3	工場板金 (機械板金作業)	随時2級 随時3級 基礎級	動力プレスの 金型取付け等	特別教育受講修了証等の確認 又は自己申告書への署名
4	電気機器組立て (変圧器組立て作業)	随時2級	ガス溶接	ガス溶接作業主任者免許証、 ガス溶接技能講習修了証等 の資格証等の確認
5	冷凍空気調和機器施工 (冷凍空気調和機器施工作業)	随時2級	ガス溶接	ガス溶接作業主任者免許証、 ガス溶接技能講習修了証等 の資格証等の確認
6	製本 (製本作業)	随時2級	動力プレスの シャーの刃部 取付け等	特別教育受講修了証等の確認 又は自己申告書への署名
7	とび (とび作業)	随時3級 基礎級	足場の組立て、 解体又は変更	特別教育受講修了証等の確認 又は自己申告書への署名
8	配管 (プラント配管作業) 〔配管用炭素鋼鋼管を選択 する場合〕※	随時2級	ガス溶接	ガス溶接作業主任者免許証、 ガス溶接技能講習修了証等 の資格証の確認
			アーク溶接	特別教育受講修了証等の確認 又は自己申告書への署名
9	内装仕上げ施工 (鋼製下地工事作業)	随時2級	研削といし(高 速といし)の取 替え等	特別教育受講修了証等の確認 又は自己申告書への署名
10	サッシ施工 (ビル用サッシ施工作業)	随時2級	アーク溶接	特別教育受講修了証等の確認 又は自己申告書への署名

(※) 配管(プラント配管作業)の課題については、「配管用炭素鋼鋼管」又は「水道用硬質ポリ塩化ビニル管」のいずれかにより実施することとされております。(水道用硬質ポリ塩化ビニル管を選択する場合には、資格証の確認や自己申告書への署名は必要ありません。)

(2) 実技試験の実施

実技試験は、「実技試験実施要領」及び「実技試験問題」に従って適正に実施してください。技能検定委員には、事前に資料を熟読の上、試験をご担当くださるよう依頼してください。

なお、試験用の設備材料等は「実技試験実施要領」及び「実技試験問題」で指定されているとおり準備してください。勝手な判断で別のもので代用することは禁止されています。

① 支給材料等

[基礎級]

- ・ 機械検査・電子機器組立て（電気はんだこて等使用工具：受入企業持参）・プリント配線板製造・婦人子供既製服縫製・紳士既製服製造・射出成形（計測器等（ノギス・マイクロメーター・ヤスリ等）含）：当協会準備
- ・ 上記以外の作業：受入企業準備
作業によって申し込みが必要な中央幹旋材料等（P45参照）があるので、早目に注文してください
例：基礎級：圧縮成形用成形品（一人3個）・ブロー成形用成形品（一人3個）

[随時3級]

- ・ 機械検査・電子機器組立て（電気はんだこて等使用工具：受入企業持参）・プリント配線板製造・射出成形（使用する成形機は日精樹脂工業株式会社製のNEX80IV-12EG）とび（協会指定場所で行う場合、使用工具等：受入企業持参）
：当協会準備
- ・ 上記以外の作業：受入企業準備
※マシニングセンタ：疑似工具等は、企業でご準備ください。
※金属塗装・噴霧塗装：調色見本板の作成

② 作業試験開始前の留意点

原則として、技能検定試験の当日は、先に実技試験を行い、終了後に一斉に学科試験を行います。

当日、当協会職員等が試験会場に出向き、実技採点基準等を技能検定委員に手渡します。

技能検定委員は、検定秘の実技試験採点基準及び得点表、採点用紙は、試験開始から終了まで、内容が他人の目に触れないように留意していただきます。

また、実技試験に使用した採点基準等、全て（未使用分含む）を当協会職員等へ返却していただきます。

その他の留意事項は次のとおりです。

- ・ 技能検定委員は受検者の受付を行い、写真票により受検者を確認すること。
- ・ 技能検定委員は、試験実施に支障がないか試験会場を点検し、実技試験実施要領及び実技試験問題のとおり試験の準備が整っているか確認すること。
- ・ 技能検定委員は、受検者が一見して判断できるよう必ず名札を着用すること。
- ・ 技能検定委員は、注意事項を読み上げるなどし、試験実施上の必要な諸注意について受検者に説明すること、その後、受検者から質問等を受け付けること。
- ・ 試験は、すべて日本語で行うものとする。技能検定委員、当協会職員等以外は、試験会場に入室させてはならないこと、受検者に対しても、日本語以外での発言は禁止すること。

なお、実技試験においては、受入企業等の者が受検者に手を貸したり、話しかけたり、合図をしたりすることは不正行為となること。

③ 試験中及び終了後の留意点

ア 採点は、当該職種（作業）の実技試験「採点基準」に基づき、技能検定委員が行うものとする。

イ 作品の提出を受ける際には、受検番号や受検者氏名を確実に照合すること。

ウ 技能検定委員は、成績を記入した得点表、採点用紙を点検し、署名押印の上、採点基準等全てを当協会職員等へ手渡しすること。

(3) 学科試験の実施

学科試験は、下記の要領で実施しますので、適正に試験が実施できるよう試験会場の手配をお願いします。

① 試験は当協会職員等が行います。

② 試験は、全て日本語で行います。

③ 受検者に対しても、日本語以外での発言は禁止します。

④ 試験中は、試験係員及び受検者以外の者（監理団体等の通訳者等含む）の学科試験会場（会議室等）への入室は認めません。

⑤ 原則として、実技試験終了後に行いますが、スケジュールの都合により学科試験から行う場合があります。

(4) 合格発表

① 滋賀県から送付される合格証書をもって合格発表とします。

※一部合格通知（実技・学科それぞれのみ）は当協会で作成し、監理団体等へ送付します。

② 実技試験、学科試験の一方又は両方の不合格者は、1回に限り再受検することができます。

なお、受検した試験が合格点に満たなかった場合は、再受検の日程調整のため、原則として試験日から1週間以内に監理団体等へ連絡します。

（試験実施日の翌週中に外国人技能実習機構の受検手続支援サイトに合否登録を行いますので、当協会等への電話での問い合わせはご遠慮願います）

(5) 支給材料費の請求

当協会の一部の職種・作業において、試験実施にかかる支給材料費を1月毎に取りまとめて監理団体等へお支払いしておりますので、請求用紙（P18）が届きましたら、内容を確認し、押印の上、当協会まで返送してください。

〔手続きの流れ〕

当協会	監理団体等
随時試験 ○月分支給材料費支払いのお知らせを送付（ 受検者数、請求金額は予めこちらで算定しております ）	
	職種、受検者数を確認 振込先口座、担当者等を記入 下部の請求書に団体名、代表者名を記入・押印し協会宛に送付
請求書(調査書)を受領し、指定口座に振込	

〔留意点〕

- ・ 随時試験とは、基礎級、随時3級および随時2級の技能検定を指します。
- ・ 対象は原則監理団体（または企業単独型の企業）となります。
- ・ 1ヶ月ごとにまとめてのお支払いとなります。職種ごとに決めた**単価に受検人数を乗じたもの**がお支払額となります。
- ・ 毎月、前の月に実技試験を実施した監理団体等にご案内しております。
受入企業側で費用負担されている場合は監理団体等からお渡すようお願いいたします。
- ・ 支給材料のない試験、当協会で支給材料を準備する試験の職種（作業）については支払い対象外（支払い額0円）としております。（電子機器組立て、射出成形等）
また、欠席者は支払の対象となりません。
- ・ 支払いを希望される監理団体等につきましては、必要事項を記入し、指定日までに返送いただきますようお願いいたします。指定日までに到着が確認できない場合は、希望なしとさせていただきますのでご注意ください。
- ・ 実施結果を基に、実施職種、人数、支払いをさせていただく金額を請求書欄に予め記入しております。誤りがある場合は直接ご連絡いただきますようお願いいたします。
- ・ お支払い方法は、銀行振り込みといたします。銀行振込手数料は当協会負担といたします。
- ・ 検定手数料の納付時に差額のみを納付することは認めません。

(別紙)

随時試験

月分 支給材料費支払いのお知らせ

2023/

様

技能検定基礎級、随時3級及び随時2級(以下、「随時試験」)の実技試験の実施にあたり、試験用支給材料をご用意いただいた職種については、その費用の一部を支払います。支払う金額は職種ごとに定めた単価×受検人数となります。

ご希望の場合は、下記内容および別紙をご確認いただき、お手続きをお願いいたします。

1. 必要な手続き

(1) 裏面の実施内訳をご確認ください。

件数の不足や人数に誤りがありましたらご連絡をお願いします。(欠席者は除いています。)

(2) 振込先および確認連絡先の必要事項をご記入ください。

複数企業宛に個別振込は対応いたしません。監理団体または1企業のみ振込先を記入してください。

(3) 本書類下部の請求書部分の必要事項をご記入ください。

請求者は監理団体としてください。団体名・代表者役職・氏名の記入、押印をお願いします。

(4) 本書類を郵送で返送してください。

なお、今月末日までに返送がなかった場合には、支払いの希望なしと判断いたしますのでご了承ください。

【送付、お問い合わせ先】

滋賀県職業能力開発協会
〒520-0865 滋賀県大津市南郷五丁目2-14
電話:077-533-0850 FAX:077-537-1351
メール:

切り取らないでください

随時試験 材料費請求書

令和5年 月 日

滋賀県職業能力開発協会 あて

監理団体名: 〇

代表者役職・氏名: _____

印

随時試験実技試験受検に係る材料費として下記のとおり請求します。

¥〇

振込先	
金融機関名/店名	店
口座種別	1 普通 2 当座
口座番号	
口座名義	(フリガナ)

確認連絡先		
担当者名	電話番号	FAX

裏面

貴団体が受検した随時試験 実技試験の実施内訳表

試験日	曜日	作業名	等級	受検者数(名)	1名あたりの単価	金額	受入企業名

※1 単価が0円は支払がない職種です。

※2 表は滋賀県職業能力開発協会に申請した受検者のみです。

※3 欠席者は除いています。

第3章 受検申請について

1 受検申請関係書類

試験実施日が決まりましたら、速やかに（試験実施日の30日前まで）受検申請書・~~技能検定実施計画書~~・履歴書（技能検定委員）・試験会場案内図等を作成の上、当協会へ送付してください。

※ 試験実施日の決定前に申請書等を提出されても受付いたしませんので、ご注意ください。

(1) 随時2級・随時3級の受検申請書類

随時級の技能検定試験の申し込みには、下記の書類が必要です。

① 随時2級・随時3級 技能検定 申請書（記載例P25参照）

② 随時2級申請の場合

随時3級技能検定合格証又は実技試験合格通知書の写し

③ 随時3級申請の場合

基礎級技能検定合格証の写し

④ 随時2級・随時3級 技能検定 写真票（記載例P28参照）

⑤ ~~随時2級・随時3級 技能検定実施計画書（記載例P33参照）~~ ※R5より不要

※ 1会場1作業につき1枚の作成が必要です。

⑥ 履歴書（一部の作業、新規技能検定委員のみ提出（記載例P35参照））

※ 1 必ず、「技能検定委員の推薦」（P11）をご参照の上、選任基準が確認できるよう記入（合格証の写し添付）してください。

※ 2 受検者が10名以上の場合は、原則2名以上必要です。

※ 3 過去に技能検定委員で選任された方も担当作業の等級が初めての場合は、改めて提出が必要です。

⑦ 試験会場案内図（記載例P37）

※ 会場は滋賀県内であれば、受検者所属事業所以外での実施も可能です。

会場（一部の作業を除く）及び技能検定委員（一部の作業を除く）は、監理団体等でご用意ください。

⑧ 受検手数料の振り込みが確認できる書類（振込用紙のコピー等・P20・2. (1) 注意要）

(2) 基礎級の受検申請書類

基礎級の技能検定試験の申し込みには、下記の書類が必要です。

① 基礎級 技能検定 申請書（記載例P25参照）

② 基礎級 技能検定 写真票（記載例P28参照）

③ ~~基礎級 技能検定実施計画書（記載例P33参照）~~ ※R5より不要

※ 1会場1作業につき1枚の作成が必要です。）

④ 試験会場案内図（記載例P37）

※ 会場は滋賀県内であれば、受検者所属事業所以外での実施も可能です。

会場（一部の作業を除く）は、監理団体等でご用意ください。

⑤ 受検手数料の振り込みが確認できる書類（振込用紙のコピー等・P20・2. (1) 注意要）

※ 金属プレス作業用金型を借用される場合は、借用願（P43）を提出願います。

※ 別表（P14）の職種（作業）については、実技試験受検時に免許、特別教育が必要になりますので、試験当日に携帯していなければなりません。なお、技能検定申請書を提出する際に写しを添付願います。

試験実施日が決まりましたら、速やかに（試験実施日の30日前まで）申請書類を完全にそろえて提出してください。

なお、不備等への対応のためにも、余裕を持って提出してください。

試験実施日の30日前までに申請書類の不備が修正されない場合は、試験日の予約を取り消す場合があります。

※どうしても送付できない理由がある場合は、必ず事前にご連絡ください。

※技能検定申請書等が提出された後、試験日の変更はできません。

受検申請区分について

技能検定の受検申請区分は下表のとおりです。

A区分は免除資格のない方による申請で、受検を希望される試験により、A甲、A乙、A丙に区分されます。

同じ実技試験受検希望の申請者でも、学科合格の後、再試験の申請は「C」区分、実技試験だけ受検を希望される場合（随時2級及び随時3級試験で実技試験だけ受検される場合等）は「A丙」の区分で申請することになります。

申請区分名	A甲	A乙	A丙	B	C	D
実技試験	○		○	免除	○	免除
学科試験	○	○		○	免除	免除
免除資格	なし			実技合格者	学科合格者等	実技学科合格者

※ ○はその試験を受検することを示す。

2 受検手数料の支払い

申請書提出時に、受検手数料の振込みも同時にお願ひします。その際、手数料の送金の確認できるもの（振込用紙のコピー等）を添付してください。

受検手数料の支払いの確認がとれるまで申請の受付を行いませんので、必ず申請書類に添付してください。

お支払いいただきました受検手数料は、いかなる理由があっても返還できませんので、ご了解ください。（[滋賀県公報 令和6年3月26日 第498号 P7参照](#)）

(1) 受検手数料

婦人子供既製服縫製・機械検査：（実技）15,100円（学科）3,100円

上記以外の作業：（実技）18,200円（学科）3,100円

※ 受検日が新年度になる場合は、4月1日以降になってから納付願ひします。

（例 試験実施日：令和5年4月10日→4月1日以降8日までに納付、なお、申請書等のみ令和5年3月10日までに送付願ひします）

(2) 振込銀行口座

関西みらい銀行 南郷支店 普通預金 327102

滋賀県職業能力開発協会

（シガケンシヨクギョウノウリョクカイハツキョウカイ）

※ 振込手数料は、監理団体等で負担ください。

(3) その他

受検手数料に改定があった場合は、下記のとおり、納付額が変わりますので注意願います。

例 2019年10月1日受検手数料改定の場合

- ・ 申請書提出日及び入金日の両方が9月30日までの場合 : 旧料金
- ・ 申請書提出日及び入金日のどちらか一方又は両方が10月1日以降の場合 : 新料金

3 受検申請関係書類記載例

- ・ 技能検定 申請書 (P 2 5)
- ・ 技能検定 写真票 (P 2 8)
- ・ 試験日程調整用紙 (P 3 0・P 3 1)
- ・ ~~技能検定実施計画書 (P 3 3)~~ ※R5 より不要
- ・ 履歴書 (P 3 5)
- ・ 技能検定試験会場案内図 (P 3 7)

4 技能検定申請書等の入力または記入時の注意点

技能検定申請書等につきましては、ダウンロードの上、入力し、印刷して提出してください。

なお、入力または手書きされる場合は下記の点に注意してください。

- ① 本人署名の氏名欄は、本人が署名した場合は押印の必要はありません。
- ② ①以外の項目については、代理の者の記入も可とする。
※ 記入にあたって訂正の必要な場合は二重線で抹消して、見え消しで訂正すること。(修正ペンもしくは修正テープで修正されますと受付できません。)
- ③ 氏名は、パスポート(写)の氏名(アルファベット)と必ず一致すること。
- ④ フリガナはカタカナで記入してください。
なお、申請書に、パスポート(写)を貼付し、顔写真が鮮明であるか(顔写真が黒くて見えな
い場合があります)確認をお願いします。
- ⑤ 日付(申請日・撮影日(申請前3か月以内に撮影))は、必ず入力または手書き願います。
- ⑥ 手書きされる場合は、消しゴムで消えるボールペンは使用しないで下さい。
※ 受検票は、申請書及び受検手数料を受領した後に監理団体等へ送付いたします。
※ 受検申請書に訂正があった場合、試験日当日に修正を依頼しますので、監理団体又は受入企業の担当者が訂正願います。

5 書類記入チェックシート

1 技能検定 申請書	
①	※印の欄以外に、記入漏れはありませんか？
②	本人の署名がありますか？
③	職種・作業名は記入されていますか？
④	氏名・フリガナは記入されていますか？（パスポート要確認）
⑤	生年月日・性別・国籍は記入されていますか？（パスポート要確認）
⑥	現住所は記入されていますか？
⑦	実習機関は記入されていますか？（受入企業の住所は滋賀県内）
⑧	合格事項が正確に記入されていますか？
⑨	監理団体名は記入されていますか？
⑩	入国年月日は記入されていますか？
⑪	パスポートの写しは、添付欄に貼り付けてありますか？
⑫	上記の写しは、文字や顔写真が判別できる状態ですか？
⑬	試験の免除・受検区分欄は記入されていますか？
⑭	写真票に記入漏れはありませんか？（撮影年月日・作成前3か月以内に撮影）
⑮	写真票に写真が貼ってありますか？
2 推薦書・履歴書（技能検定委員推薦の場合）	
①	技能検定の合格証・指導員免許の写しは添付しましたか？（お持ちの場合）
②	実務経験年数は事務要領 P11 の選任基準を満たしていますか？
3 試験会場案内図	
①	実施計画書に記載の会場、住所と同じですか？
②	問い合わせ先電話、交通案内欄を記入されていますか？
4 受検料の振込みが確認できる書類	
①	振込用紙の写し等は添付しましたか？（振込金額の内訳記入）
5 技能検定合格等を確認できる書類	
①	随時2級は随時3級の合格証の写し又は実技試験合格証の写しを添付しましたか？
②	随時3級は基礎級の合格証の写しを添付しましたか？
③	一部の職種・作業に必要な特別教育修了証等の写しを添付しましたか？

第4章 その他関連情報

1 よくある質問

Q 1 試験準備のための参考書や問題集はありませんか。

A 1 P 2 4、2. 過去問題等の提供（1）コピーサービスを利用ください。（問題集は発行されて
おりません）

Q 2 試験会場はどこでもよいのですか。

A 2 所在地が滋賀県内で、受検を希望される試験の実技試験実施要領等で定める基準を満たして
いることが必要です。

この条件を満たしていれば受入企業以外の場所でも可能です。

Q 3 試験日の予約はどのようにするのですか。

A 3 監理団体等が、外国人技能実習機構（以下、機構）へ受検情報を登録された後、機構によりそ
の情報が承認されると、その情報が閲覧可能となります。当協会がその情報を取得し、**外国人技
能実習機構に登録された試験希望月の3か月前**になりましたら、当協会から受検手続きについ
て案内しますので、試験日程調整用紙により試験希望日をお知らせください（試験希望日の概ね
2カ月前に提出）。滋賀県では、随時3級の試験日予約が大変込み合っていますので、希望の試
験日予約ができない場合があります、在留期限ぎりぎりになる場合があります。

Q 4 試験会場及び技能検定委員は誰が手配するのですか。

A 4 一部作業を除き、受検者側（監理団体等）で探していただきます。

技能検定委員の選任基準については、P 1 1を参照ください。

Q 5 技能検定委員は退職者でも可能ですか。

A 5 はい。退職者であれば、受入企業に勤務されていた方でも結構です。ただし、退職後、嘱託
等で勤務されている方は選任出来ません。

Q 6 申請書類はいつまでに提出するのですか。

A 6 試験実施日の1か月前までに、提出してください。なお、その他提出書類はP 1 9を参照くだ
さい。

Q 7 試験材料等はどこで入手すればよいのですか。

A 7 一部作業には試験材料を販売する団体があります。P 4 5を参照ください。

記載がない場合は、監理団体等で調達していただきます。

Q 8 金属プレス作業の金型の予約はどうすればよいのですか。

A 8 試験日程を調整する際に、金型の借用申込みをしてください。また、受検申請書を提出する際
に借用願（P 4 3）を提出ください。

Q 9 学科試験は誰が担当するのですか。

A 9 当協会の職員等です。試験日当日は、実技試験の開始から立ち会います。

Q 10 試験開始時間は変更できますか。

A 10 基礎級は、原則として午前9時30分又は午後1時30分としています。また、随時2級、3
級は、原則として午前9時00分又は午後1時00分としています。ただし、受検人数が多い等
の特殊理由がある場合には考慮させていただきます。

当協会へ電話で相談ください。

Q 11 試験日を変更することができますか。

A 11 一度予約された試験日は、基本的に受入企業、受検者、監理団体等の都合で変更することはで
きません。

Q12 試験当日に病気等でどうしても出席できない場合、受検手数料は返してもらえますか。

A12 お支払いいただきました受検手数料は、理由の如何を問わず返還することはできません。

Q13 他府県の企業（支店等含む）で受け入れている実習生の試験を滋賀県で受検することはできますか。

A13 滋賀県では、基礎級・随時2級・随時3級の試験が大変混み合っており、他府県の企業（支店等含む）で受け入れられている実習生の試験については、実施しておりません。

2 過去問題等の提供

(1) コピーサービス

中央職業能力開発協会が公開している過去の実技試験問題及び学科試験問題の交付申請があれば、1部500円（令和2年11月2日以降申請書到着分から）で郵送等を行っています。

① 技能検定試験問題等コピー依頼書（P39）

上記、依頼書を当協会のホームページからダウンロードし、必要な級・職種・作業名・実技・学科に○を記入の上、持参又はFAXしてください。

② 現金と引き換えに手渡し、又は郵送の場合、請求書を同封しますので、振込または現金書留でお支払いください。

(2) ホームページ上での閲覧

公開されている問題は中央職業能力開発協会のホームページで閲覧できます。（印刷不可）

[中央職業能力開発協会ホームページ](#) — [技能検定](#) — [技能検定試験問題公開サイト](#)

— [〇〇〇〇年度随時技能検定実技試験問題](#)

— [公開用随時技能検定学科試験問題](#)

3 実技試験材料の斡旋

別紙（P45）を参照の上、必要な材料を団体等へ申込書により発注ください。

令和6年版

令和6年 4月 1日 作成

基礎級

技能検定 申請書

技能検定を受けたいので申請します。

滋賀県知事 様

【記載例】

※受検番号

【提出年月日】(西暦)

2022年8月1日

本人署名または押印

ABC DEF

検定職種	機械加工			職種	実技・学科両方受検			A甲	O	
選択作業	普通旋盤			作業	学科のみ(実技免除なし)			A乙		
読み(カタカナ)	エビシ デイフ				実技のみ(学科免除なし)			A丙		
受検者氏名 (アルファベット)	ABC DEF			受検区分 (区分名の 右側空欄に ○をつける)	学科のみ(実技合格済)			B		
生年月日(西暦)	2000年12月12日				実技のみ(学科合格済)			C		
満年齢	20	才	性別		男	両方免除 (実技・学科共に合格済)			D	
住所	〒 〇〇〇-〇〇〇〇 滋賀県〇〇市〇〇〇町〇〇番〇〇号				過去に合格した場合は、免除を選択してください					
連絡先	(TEL) 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇									
入国年月日(西暦)	2018年12月1日			在留期限(西暦)	2021年12月1日					
受検資格	実習機関	受入企業名	住所・TEL		担当者 (役職・氏名)	【1・2・3号】技能実習 期間(西暦)				
		〇〇〇〇(株)	〒 〇〇〇-〇〇〇〇 滋賀県〇〇市〇〇〇町〇〇番〇〇号 TEL 〇〇〇(〇〇〇)〇〇〇〇		係長 大津太郎	開始	2019年12月			
	基礎級 随時3級 合格情報	受検地(申請した都道府県)	級	職種	作業	合格年月日・合格番号				
		滋賀県	基礎級	機械加工	普通旋盤	令和元年9月1日	第〇〇-基-〇〇〇 -〇〇-〇〇〇〇号			
上の欄は、随時3級受検⇒基礎級の技能士合格情報、随時2級受検⇒随時3級の技能士合格または実技一部合格情報を記載。 ※合格証の(写)添付										
試験免除	受検地(申請した都道府県)	級	職種	作業	合格年月日・合格番号					
	学科免除				年	月	日	号		
	実技免除				年	月	日	号		
確認事項	試験日付	2023年4月1日(土)		実技1回の人数・ 回転数	1回につき	受験票等送付先 ※未記入の場合は 監理団体へ送付いたします		受入企業・監理団体		
	試験開始時間	9時00分			5名×2回転実施					
	試験会場名	〇〇〇〇(株) 〇〇工場								
	会場住所	〒 〇〇〇-〇〇〇〇 滋賀県〇〇市〇〇〇〇町〇〇番〇〇号								
	監理団体名	〇〇〇〇協同組合								
	監理団体住所	〒 〇〇〇-〇〇〇〇 滋賀県〇〇市〇〇〇〇町〇〇番〇〇号								
	監理団体連絡先	TEL 〇〇〇(〇〇〇)〇〇〇〇 FAX 〇〇〇(〇〇〇)〇〇〇〇								
監理団体部署・担当者名	〇〇部〇〇課		〇〇 〇〇							
	※ 受検手数料 収納	実技(機械検査)	¥15,100							
		実技(婦人子供既製服縫製)	¥15,100							
		実技(上記以外)	¥18,200							
		学科	¥3,100							
	※ 資格判定									

顔写真(※ 鮮明に)



氏名 ABC DEF
国籍 〇〇〇〇
生年月日 2000/12/12
性別 貼付欄

パスポート(写): (顔写真・氏名・国籍・生年月日・性別欄記載の頁)を必ず貼り付けること。

申請書入力または記入上の注意事項

技能検定申請書等につきましては、ダウンロードの上、入力し、**A4用紙(当協会から送付)に画面印刷**して提出してください。なお、入力または手書きされる場合は下記の点に注意してください。

- 本人署名の氏名欄は、本人が署名した場合は押印の必要はありません。
- 1以外の項目については、代理の者の記入も可とする。

※記入にあたって訂正が必要な場合は**訂正箇所**に二重線を引き、訂正してください。(押印不要・修正テープ及び修正ペンは不可)

- 氏名は、パスポート(写)の氏名と必ず一致すること。フリガナはカタカナで記入すること。
- パスポート(写)を、申請書に必ず貼付のこと。
- 手数料については、受検する試験(実技・学科)手数料を申請と同時に納付すること。
- 試験の免除資格がある場合には、必ず証明する書面を添付すること。
- 手書きされる場合は、すべてインキまたは、ボールペンを用い、数字は、算用数字を用いてていねいに書くこと。
- ※印の欄は、記入しないこと。

以上の注意事項を厳守のこと。
なお、記入事項に不正があったときは、合格を取り消す場合がある。

※ 裏面有 両面印刷すること

技能検定 申請書

技能検定を受けたいので申請します。

滋賀県知事 様

※受験番号	
【作成年月日】(西暦)	
本人署名または押印	(印)

検定職種		職種		受検区分 (区分名の 右側空欄に ○をつける)	実技・学科両方受検	A甲	
選択作業		作業			学科のみ(実技免除なし)	A乙	
読み(カタカナ)					実技のみ(学科免除なし)	A丙	
受検者氏名 (アルファベット)					学科のみ(実技合格済)	B	
生年月日(西暦)					実技のみ(学科合格済)	C	
満年齢	0 才	性別			両方免除 (実技・学科共に合格済)	D	
住所	〒	国籍			過去に合格した場合は、免除を選択してください		
連絡先	(TEL)				上記「○」未入力		
入国年月日(西暦)		在留期限(西暦)					
受検資格	実習機関	受入企業名	住所・TEL		担当者 (役職・氏名)	【1・2・3号】技能実習 期間(西暦) ○	
			〒		開始	1900年1月	
			TEL		終了予定	1900年1月	
基礎級 随時3級 合格情報	受検地(申請した都道府県)	級	職種	作業	合格年月日・合格番号		
		-	-	-	第 - - 号		
上の欄は、随時3級受検⇒基礎級の技能士合格情報、随時2級受検⇒随時3級の技能士合格または実技一部合格情報を記載。 ※合格証の(写)添付							
試験免除	受検地(申請した都道府県)	級	職種	作業	合格年月日・合格番号		
	学科免除	-	-	-	年 月 日	号	
	実技免除	-	-	-	年 月 日	号	
確認事項	試験日付		実技1回の人数・ 回転数	1回につき	受験票等送付先 ※未記入の場合は 監理団体へ送付いたします		
	試験開始時間			名 × 回転実施			
	試験会場名				※ 受検手数料 収納	実技(機械検査)	¥15,100
	会場住所	〒				実技(婦人子供既製服縫製)	¥15,100
	監理団体名					実技(上記以外)	¥18,200
	監理団体住所	〒				学科	¥3,100
	監理団体連絡先	TEL		FAX			
監理団体部署・担当者名				※ 資格判定			

貼付欄

パスポート(写) : (顔写真・氏名・国籍・生年月日・性別欄記載の頁)を必ず貼り付けること。

申請書入力または記入上の注意事項

技能検定申請書等につきましては、ダウンロードの上、入力し、A4用紙(当協会より送付)に画面印刷して提出してください。なお、入力または手書きされる場合は下記の点に注意してください。

- 本人署名の氏名欄は、本人が署名した場合は押印の必要はありません。
- 1以外の項目については、代理の者の記入も可とする。

※記入にあたって訂正の必要な場合は訂正箇所にて二重線を引き、訂正してください。(押印不要・修正テープ及び修正ペンは不可)

- 氏名は、パスポート(写)の氏名と必ず一致すること。フリガナはカタカナで記入すること。
- パスポート(写)を、申請書に必ず貼付のこと。
- 手数料については、受検する試験(実技・学科)手数料を申請と同時に納付すること。
- 試験の免除資格がある場合には、必ず証明する書面を添付すること。
- 手書きされる場合は、すべてインキまたは、ボールペンをを用い、数字は、算用数字を用いてていねいに書くこと。
- ※印の欄は、記入しないこと。

以上の注意事項を厳守のこと。
なお、記入事項に不正があったときは、合格を取り消す場合がある。

※ 裏面有 両面印刷すること

技能士番号	※	
合格年月日	※	
合格証書再交付	年月日	※
	番号	※
	理由	※
合格取消し	年月日	※
	理由	※
備考	※	

随時3級

技能検定 写真票

作成年月日
2022年8月1日

受入企業名	〇〇〇〇(株)
受入企業連絡先	〇〇〇 (〇〇〇)〇〇〇〇
監理団体名	〇〇〇〇協同組合
監理団体連絡先	〇〇〇 (〇〇〇)〇〇〇〇
写真撮影年月日	2022年7月1日

級	随時3級	
検定職種	機械加工	職種
選択作業	普通旋盤	作業
試験日	2022年9月1日(木)	
試験開始時間	9:00	

※作成前3か月以内に撮影した正面脱帽上半身のもの

写真を貼る際は、裏面に受検者名を書いてください。また、のりで用紙が破れないように注意してください。
※受検番号の欄は、記入しないでください。

受検番号※	
受検区分 (○で囲む)	実技 ・ 学科
読み(カタカナ)	エビシ デイフ
氏名(アルファベット)	ABC DEF



随時3級

技能検定 写真票

作成年月日
2022年8月1日

受入企業名	〇〇〇〇(株)
受入企業連絡先	〇〇〇 (〇〇〇)〇〇〇〇
監理団体名	〇〇〇〇協同組合
監理団体連絡先	〇〇〇 (〇〇〇)〇〇〇〇
写真撮影年月日	2022年7月1日

級	随時3級	
検定職種	機械加工	職種
選択作業	普通旋盤	作業
試験日	2022年9月1日(木)	
試験開始時間	9:00	

※作成前3か月以内に撮影した正面脱帽上半身のもの

写真を貼る際は、裏面に受検者名を書いてください。また、のりで用紙が破れないように注意してください。
※受検番号の欄は、記入しないでください。

受検番号※	
受検区分(○で囲む)	実技 ・ 学科
読み(カタカナ)	ジエチアイ ジエケエル
氏名(アルファベット)	GHI JKL



技能検定 写真票

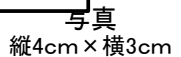
作成年月日
年 月 日

受入企業名	
受入企業連絡先	

級		職種
検定職種		作業

・申請書と一緒に、当該写真票を必ず提出してください。
・当該写真票は、実習実施先・試験日・級・作業毎に作成してください。
・受検者が5名以上の場合は、複数枚、当該写真票を印刷(当協会より送付のA4用紙)し、作成してください。

受検番号※	
受検区分(○で囲む)	実技 ・ 学科 ○
読み(カタカナ)	
氏名(アルファベット)	



技能検定 写真票

作成年月日
年 月 日

受入企業名	
受入企業連絡先	
監理団体名	
監理団体連絡先	
写真撮影年月日	

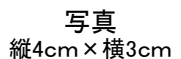
級		職種
検定職種		作業
試験日		
試験開始時間		

※作成前3か月以内に撮影した正面脱帽上半身のもの

#VALUE!

写真を貼る際は、裏面に受検者名を書いてください。また、のりで用紙が破れないように注意してください。
※受検番号の欄は、記入しないでください。

受検番号※	
受検区分(○で囲む)	実技 ・ 学科 ○
読み(カタカナ)	
氏名(アルファベット)	



技能検定 写真票

作成年月日
1900年1月0日

受入企業名	0
受入企業連絡先	0
監理団体名	0
監理団体連絡先	0
写真撮影年月日	

級		
検定職種	0	職種
選択作業	0	作業
試験日	1900年1月0日(土)	
試験開始時間	0:00	

※作成前3か月以内に撮影した正面脱帽上半身のもの

写真を貼る際は、裏面に受検者名を書いてください。また、のりで用紙が破れないように注意してください。
※受検番号の欄は、記入しないでください。

受検番号※		
受検区分 (○で囲む)	実技	・ 学科 ○
読み(カタカナ)	0	
氏名(アルファベット)	0	

写真
縦4cm×横3cm

技能検定 写真票

作成年月日
1900年1月0日

受入企業名	0
受入企業連絡先	0
監理団体名	0
監理団体連絡先	0
写真撮影年月日	1900年1月0日

級		
検定職種	0	職種
選択作業	0	作業
試験日	1900年1月0日(土)	
試験開始時間	0:00	

※作成前3か月以内に撮影した正面脱帽上半身のもの

写真を貼る際は、裏面に受検者名を書いてください。また、のりで用紙が破れないように注意してください。
※受検番号の欄は、記入しないでください。

受検番号※		
受検区分(○で囲む)	実技	・ 学科 ○
読み(カタカナ)		
氏名(アルファベット)		

写真
縦4cm×横3cm

技能検定 写真票

作成年月日
1900年1月0日

受入企業名	0
受入企業連絡先	0
監理団体名	0
監理団体連絡先	0
写真撮影年月日	1900年1月0日

級		
検定職種	0	職種
選択作業	0	作業
試験日	1900年1月0日(土)	
試験開始時間	0:00	

※作成前3か月以内に撮影した正面脱帽上半身のもの

写真を貼る際は、裏面に受検者名を書いてください。また、のりで用紙が破れないように注意してください。
※受検番号の欄は、記入しないでください。

受検番号※		
受検区分(○で囲む)	実技	・ 学科 ○
読み(カタカナ)		
氏名(アルファベット)		

写真
縦4cm×横3cm

技能検定 写真票

作成年月日
1900年1月0日

受入企業名	0
受入企業連絡先	0
監理団体名	0
監理団体連絡先	0
写真撮影年月日	1900年1月0日

級		
検定職種	0	職種
選択作業	0	作業
試験日	1900年1月0日(土)	
試験開始時間	0:00	

※作成前3か月以内に撮影した正面脱帽上半身のもの

写真を貼る際は、裏面に受検者名を書いてください。また、のりで用紙が破れないように注意してください。
※受検番号の欄は、記入しないでください。

受検番号※		
受検区分(○で囲む)	実技	・ 学科 ○
読み(カタカナ)		
氏名(アルファベット)		

写真
縦4cm×横3cm

【基礎級 試験日程調整用紙】

【記載例】

※本用紙を受検申請書に同封、又はFAXにより、試験希望日(土日祝日等を除く)をお知らせください。送付いただいた後、調整し、試験日をお知らせいたします。

なお、試験希望日の前月25日までに提出願います。(直前になりますと重複等により希望に添えない場合があります。基本的に提出される日(25日まで)の翌月及び翌々月までを調整いたします)

例: 8月23日までに提出された場合: 9月及び10月の試験日程を調整

8月26日～9月25日の間に提出された場合: 10月及び11月の試験日程を調整 (※別紙参照)

※試験希望日は本用紙提出日から1か月以上、開けた月日を希望日としてください。

(例: 8月23日に提出された場合、9月24日以降を希望日としてください。)

※合格後、合格証書を送付するまでに1か月程度の期間を要するので、遅くとも技能実習期間満了日の3か月前には受検(再試験含む)するようにしてください。

No. 〇〇〇

基礎級の試験希望日について

令和 年 月 日

滋賀県職業能力開発協会 宛

監理団体名 〇〇〇〇協同組合 担当者名

使用する機械の台数と人数
(1回でできるよう設備・工具等の準備をお願いします。)

電話番号 〇〇〇(〇〇〇)〇〇〇〇 FAX番号 〇〇〇(〇〇〇)〇〇〇〇

受入企業名 〇〇〇〇(株)

電話番号 〇〇〇(〇〇〇)〇〇〇〇 FAX番号 〇〇〇(〇〇〇)〇〇〇〇

試験作業名: 普通旋盤 2名

試験希望日 ※1 1回につき 2 名 × 1 回転実施

第1希望	〇月〇日	(月)	() 午前9時30分～	() 午後1時30分～	別紙カレンダー参照
第2希望	〇月〇日	(水)	() 午前9時30分～	() 午後1時30分～	
第3希望	〇月〇日	(金)	() 午前9時30分～	() 午後1時30分～	

在留期限: 2020/12/1

試験会場 住所 〒〇〇〇-〇〇〇〇 滋賀県 〇〇市〇〇〇〇町〇〇番〇〇号 県外では実施しません。

会場名 〇〇〇〇(株) 〇〇工場 金属プレス: 金型借用の有無 有・無

電話番号 〇〇〇(〇〇〇)〇〇〇〇 金属プレス作業の試験時に金型の借用の有無について〇をしてください。
FAX番号 〇〇〇(〇〇〇)〇〇〇〇

※構造物鉄工・機械検査(PM)・電子機器組立て・プリント配線板製造・婦人子供既製服縫製・紳士既製服製造・帆布製品製造・ワイシャツ製造・圧縮成形・射出成形・ブロー成形・大工工事・壁装作業は、基本的に当協会です実施します。

令和 年 月 日

〇〇〇〇協同組合 御中 ※当協会です日程調整を行い、試験日を入記の上、FAX送信します。

下記のとおり、試験日を設定いたしましたので、お知らせします。

なお、受検票等は、試験日の概ね30日前までに実施計画書で指定された受入企業様又は監理団体様に送付します。

記

試験日 月 日() 午前9時30分から 午後1時30分～

試験会場 住所: 〒

会場名:

金属プレス金型の貸出期間 / ~ /

滋賀県職業能力開発協会
TEL 077-533-0850
FAX 077-537-1351

※1 試験実施に伴う機械設備・材料・工具等は基本的に人数分用意いただくこととなりますが、用意できない場合、何人ずつ実施可能か上記※1に記入願います。

※FAXにより試験希望日と試験不可日をお知らせください。※この用紙は試験希望月の2か月前(初日)までに提出願います。基本的に、月の初め頃に2か月後の試験日程の調整を開始しています。
 例:7月1日(土日の場合は翌月曜日以降)より9月の試験日程の調整を開始します。9月中の試験実施をご希望の際は、7月にはいりましたら、日程調整用紙をFAXで送付してください。また、9月希望で7月以前にFAXをいただいた場合は、当協会で保管した後、7月1日以降に試験日をお知らせします。 ※ただし、再受検や在留期限が迫っている場合はこの限りではありません。

No. 〇〇〇〇

随時2級(随時3級)の試験希望日について

令和 年 月 日

滋賀県職業能力開発協会 宛

使用する機械の台数と人数をご記入ください (例) 受検者が9名 機械や工具が5台しかない場合 1回につき5名×2回転実施と記入	監理団体名 〇〇〇〇協同組合 電話番号 〇〇〇〇 FAX番号 受入企業名 〇〇〇〇株式会社 在留期限 〇〇〇	担当者名 〇〇
--	--	------------

試験作業名: 普通旋盤作業 2名 両方

試験希望日	※1 1回につき 2	名×	1	回転実施
第1希望	月 日 () ()	午前9時00分～	()	午後1時00分～
第2希望	月 日 () ()	午前9時00分～	()	午後1時00分～
第3希望	月 日 () ()	午前9時00分～	()	午後1時00分～

裏面カレンダー参照

◎技能検定委員の推薦の有無等 有(氏名) () ・無・協会選任

試験会場 住所 〒 滋賀県 会場名 電話番号 () FAX番号 ()	金属プレス作業の場合 型の借用の有無を選択 金属プレス: 金型借用の有無 有・無
--	---

(注意)随時2級と随時3級は検定委員が少ないことから、希望日にお応えできない場合があります。その場合は、本協会が希望日に近い日程で試験日を指定いたします。つきましては、以下には試験実施が不可な日時、実施日に関してのご要望などがあればご記入ください。

実施不可な日時

〇〇〇〇協同組合 御中 以下協会記入欄 令和 年 月 日

下記のとおり、試験日を設定いたしましたので、お知らせします。
 なお、受検票等は、試験日の概ね30日前までに申請書で指定された受入企業様又は監理団体様に送付します。

記

試験日 月 日 () 午前9時00分から 午後1時00分～

試験会場 住所: 〒

会場名:

金属プレス金型の貸出期間 / ~ /

滋賀県職業能力開発協会
 TEL 077-533-0850 FAX 077-537-1351

※1 試験実施に伴う機械設備・材料・工具等は基本的に人数分用意ください。

令和6年度 ※土日祝及び×印を除く

4月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

5月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

6月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

7月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

8月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

9月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

10月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

11月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

12月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

R7年1月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

R7年2月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

R7年3月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

※6月～9月中旬は当協会の射出成形機が使用できません。随時2級、随時3級の射出成形作業を受検される場合はご注意ください。

下記の試験の実施にあたり、試験場、試験用設備、機械器具及び試験用材料の調達・準備並びに実施に付随する業務を実施要領に基づき、責任をもって実施協力します。 **試験実施日程確定後に作**

滋賀県職業能力開発協会長 あて

【記載例】

成

令和4年8月1日

R5より提出不要です

電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

1 試験の概要(初めて試験を実施する会場は会場案内図を添付ください)

フリガナ 受入企業	(フリガナ) 〇〇〇〇 〇〇〇〇株式会社	使用する機械の台数と人数 (1回でできるよう設備・工具等 の準備をお願いします。)	合同で実施する場合の会社合計数
検定職種	機械加工 職種	受検人数(国籍) 実技1回の人数・回転数	1回につき (4) 名 × (1) 回転実施
選択作業	普通旋盤 作業	金属プレス作業:金型の借用	要 2022/ / ~ 2022/ / 否
試験日時	2022年9月1日(木) 9時00分		金属プレス用の金型の借用を希望される場合は記入(試験日の1週間前から借用可)
試験会場名	〇〇〇〇株式会社〇〇工場 会場経験 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	〒 〇〇〇-〇〇〇〇 滋賀県〇〇市〇〇町〇〇番〇〇号 TEL 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	

2 受検区分、受検申請者数及び受検手数料

受検区分	学科試験受検手数料①	実技試験受検手数料②	受検手数料合計①+②	領収確認	申請書入力	名簿確認
A甲 人 B 人	3,100 円 × 4 人	15,100 円 × 人	85,200 円			
AZ 人 C 人						
A丙 人		18,200 円 × 4 人				

3 事務連絡・郵送先 (試験実施事務に関する連絡・郵送先をご記入ください)

受検票等の送付先 ①か②を選択し、②の場合は住所等を記入	〒 〇〇〇-〇〇〇〇 滋賀県〇〇市〇〇町〇〇番〇〇号 TEL 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	課題等送付
上記計画書の申込者に送付 右記に送付	住所 受入企業・団体名 〇〇〇〇株式会社 担当者名 〇〇	
監理団体担当者 TEL・FAX	部署 〇〇課 TEL 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 担当携帯 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	氏名 〇〇 〇〇 FAX 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

技能検定委員推薦書

下記の者を上記試験の技能検定委員に推薦します。(※不要の職種・作業有)

フリガナ 検定委員氏名	〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇 〇〇	委員歴 有・無 <input checked="" type="checkbox"/> 有	所属先名 部署・職名 △△株式会社 〇〇課 課長	選任基準確認
生年月日	昭和〇〇年〇月〇日 生			
所属先住所 無所属の方は自宅	〒 〇〇〇-〇〇〇〇 △△県△△市△△町△△番△△号		TEL 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 本人携帯 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	
フリガナ 検定委員氏名		委員歴 有・無 <input type="checkbox"/> 有	所属先名 部署・職名	選任基準確認
生年月日	年 月 日 生			
所属先住所 無所属の方は自宅	〒		TEL 本人携帯	

令和 年度 (随時2級・随時3級・基礎級) 技能検定実施計画書 No. _____

下記の試験の実施にあたり、試験場、試験用設備、機械器具及び試験用材料の調達・準備並びに実施に付随する業務を実施要領に基づき、責任をもって実施協力します。

令和 年 月 日

滋賀県職業能力開発協会長 あて

〒
住所

R5より提出不要です

1 試験の概要(初めて試験を実施する会場は会場案内図を添付ください)

(フリガナ) 受入企業	(フリガナ)		社	初 始
検定職種	職種	受検人数(国籍) 実技1回の人数・回転数	名 (国籍:) 1回につき () 名 × () 回転実施	
選択作業	作業	金属プレス作業:金型の借用	要	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 <input checked="" type="checkbox"/> 否
試験日時	年 月 日 ()		時 分	
試験会場名	会場経験	有 ・ 無	〒 TEL	

2 受検区分、受検申請者数及び受検手数料

受検区分	学科試験受検手数料①	実技試験実施手数料②	受検手数料合計①+②	領収確認	申請書入力	名簿確認
A甲 人 B 人	3,100 円 × 人	15,100 円 × 人	0 円			
A乙 人 C 人		18,200 円 × 人				
A丙 人						

3 事務連絡・郵送先 (試験実施事務に関する連絡・郵送先をご記入ください)

① 上記計画書の 申込者に送付	② 右記に送付	住所	〒		課題等送付
		受入企業・団体名	TEL		
監理団体担当者	部署	氏名			
TEL・FAX	TEL	FAX			
	担当携帯				

技能検定委員推薦書

下記の者を上記試験の技能検定委員に推薦します。(※不要の職種・作業有)

フリガナ		委員歴				選任基準確認
検定委員氏名		有・無	所属先名 部署・職名			
生年月日	年 月 日 生					
所属先住所 無所属の方は自宅	〒	TEL 本人携帯				
フリガナ		委員歴				選任基準確認
検定委員氏名		有・無	所属先名 部署・職名			
生年月日	年 月 日 生					
所属先住所 無所属の方は自宅	〒	TEL 本人携帯				

推薦書

【記載例】

推薦団体	推薦団体名			
	住所	〒		
	電話番号			
試験日時				
受入企業名		会場住所		

下記の者を技能検定委員に推薦します。

* 技能検定委員選任基準

履歴書

【記載例】

(ア) (イ) (ウ) (エ)

担当職種	職種名	作業名		職種・作業番号	
	機械加工	職種	普通旋盤	作業	*
		職種		作業	*
フリガナ	○○○○ ○○○○		生年月日	年齢	
氏名	○○ ○○		昭和○○年○月○日 生	○○ 歳	
本人現住所	〒 ○○○-○○○○ △△県△△市△△町△△番△△号		電話 ○○○-○○○-○○○○		
所属	事業所名/部署・職名	△△株式会社	部署	○○課	職名 課長
	所在地	〒 ○○○-○○○○ 電話 ○○○-○○○-○○○○ □□県□□市□□町□□番□□号			
最終学歴	(学校名・学科名等)	○○大学 ○○ 学部 ○○ 学科 昭和○○年○○月○○日卒業			
訓練歴	(訓練施設・訓練科名)	○○○○職業能力開発校 ○○ 科 昭和○○年○○月○○日卒業			

選任基準の根拠 ※2	職種に関する技能検定 ^① 級・2級合格、指導員免許取得 (合格証書の写し添付)		
	職種(作業名)	合格年月日	合格番号
	機械加工(普通旋盤)	平成○○年○月○日	○○○○ 号
	職種に関する実務経験・学識経験		
	職種名・所属名 ※3	期間	年数
	機械加工	S・H・R ○○年 ○○月～	○○年
	△△株式会社	S・H・R 年 現在に至る	
		S・H・R 年 月～	年
		S・H・R 年 現在に至る	
	職種に関する役職(管理・技術・教育部門の課長級以上)		
役職名 ※1	期間		
○○課 課長	平成○○年 ○月～令和○年 ○月		

私は、職業能力開発促進法を遵守し、滋賀県技能検定実技試験の技能検定委員になることを承諾します。

令和○年○月○日

氏名 ○○ ○○

印

※1 役職名は選任基準の判定に必要可能な限り具体的にご記入ください。役員の方も「○○担当役員」等、管理・技術・教育部門の別が判定できるようご記入ください。

※2 「選任基準の根拠」欄は推薦される職種に関する履歴等を該当項目全てについてご記入ください。選任基準については、技能検定事務要領P11をご覧ください。

※3 職種名・所属名は、複数の事業所での実務経験がある場合、事業所ごとに記入ください。

推薦書

推薦団体	推薦団体名	0		
	住所	〒 0 0		
	電話番号	0		
試験日時	明治33年1月0日	0時00分		
受入企業名	0	会場住所	0	

下記の者を技能検定委員に推薦します。

* 技能検定委員選任基準

履歴書

(0)

(ア) (イ) (ウ) (エ)

担当職種	職種名	作業名		職種・作業番号	
	0	職種	0	作業	*
		職種		作業	*
フリガナ				生年月日	年齢
氏名				生	0 歳
本人現住所	〒	電話			
所属	事業所名/部署・職名	部署	職名		
	所在地	〒	電話		
最終学歴	(学校名・学科名等)	学部	学科	昭和平成	年 月 卒業
訓練歴	(訓練施設・訓練科名)	科	昭和平成	年 月 卒業	

選任基準の根拠 ※2	職種に関する技能検定 <u>1級・2級</u> 合格、指導員免許取得 (合格証書の写し添付)					
	職種(作業名)		合格年月日		合格番号	
	0				号	
	職種に関する実務経験・学識経験					
	職種名・所属名 ※3			期間		年数
				S・H・R	年 月	年
				S・H・R	年 月	現在に至る
				S・H・R	年 月	年
				S・H・R	年 月	現在に至る
	職種に関する役職(管理・技術・教育部門の課長級以上)					
役職名 ※1			期間			
			平成	年 月	令和 年 月	

私は、職業能力開発促進法を遵守し、滋賀県技能検定実技試験の技能検定委員になることを承諾します。

令和 年 月 日

氏名

印

※1 役職名は選任基準の判定に必要可能な限り具体的にご記入ください。役員の方も「〇〇担当役員」等、管理・技術・教育部門の別が判定できるようご記入ください。

※2 「選任基準の根拠」欄は推薦される職種に関する履歴等を該当項目全てについてご記入ください。選任基準については、技能検定事務要領P11をご覧ください。

※3 職種名・所属名は、複数の事業所での実務経験がある場合、事業所ごとに記入ください。

技能検定試験会場案内図

【記載例】

試験会場名	〇〇〇〇株式会社〇〇工場	担当者 〇〇
会場住所	〒 〇〇〇-〇〇〇〇 滋賀県□□市□□町□□番□□号 電話 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	



交通機関	最寄り駅 鉄道(JR ・他(琵琶湖線))	〇〇	駅	最寄り駅等より 徒歩 ・車
	バス ()		停	〇〇 分

技能検定試験会場案内図

試験会場名		担当者
		0
会場住所	〒 TEL 	
交通機関	最寄り駅 鉄道(JR・他()) ○ バス ()	駅 徒歩 ○ ・車 停 分

基礎級・随時3級・随時2級 技能検定 試験問題コピーサービス申込書

申込者 記入欄	
団体・企業名	
担当者名	
所在地	〒
電話番号	
総計	@ 500 × 部 = 円

※協会記入欄		
処理日		
令和	年	月 日
領収書		
No.		
受付者 印		窓口
		郵送

(令和6年度公開用) 随時実施分 実技・学科試験問題 ※令和6年5月以降に公開予定
 等級欄の数字は、公開問題のパターン数を表す ※ご希望のものに○をつけてください。○

記号	職種・作業	実技			学科			申込部数
		基礎級	随時3級	随時2級	基礎級	随時3級	随時2級	
FK01	さく井(パーカッション式さく井工事作業)	1	1	1	1	1	1	
FK02	さく井(ロータリー式さく井工事作業)	1	1	1	1	1	1	
FK03	鋳造(鋳鉄鋳物鋳造作業)	1	1	1	7	1	1	
FK04	鋳造(非鉄金属鋳物鋳造作業)	1	1	1	2※ ¹	1	1	
FK05	鍛造(ハンマ型鍛造作業)	1	1	1	1	1	1	
FK06	鍛造(プレス型鍛造作業)	1	1	1	1	1	1	
FK07	機械加工(普通旋盤作業)	1	1	1	7	1	1	
FK08	機械加工(数値制御旋盤作業)	1	1	1	7	1	1	
FK09	機械加工(フライス盤作業)	1	1	1	7	1	1	
FK11	機械加工(マシニングセンタ作業)	1	1	1	1	1	1	
FK12	金属プレス加工(金属プレス作業)	1	1	1	7	1	1	
FK13	鉄工(構造物鉄工作業)	1	1	1	7	1	1	
FK14	建築板金(内外装板金作業)	1	1	1	1	1	1	
FK15	建築板金(ダクト板金作業)	1	1	1	1	1	1	
FK16	工場板金(機械板金作業)	1	1	1	7	1	1	
FK17	めっき(電気めっき作業)	1	1	1	1	1	1	
FK18	めっき(溶融亜鉛めっき作業)	1	1	1	1	1	1	
FK19	アルミニウム陽極酸化処理(陽極酸化処理作業)	1	1	1	1	1	1	
FK20	仕上げ(治工具仕上げ作業)	1	1	1	1	1	1	
FK21	仕上げ(金型仕上げ作業)	1	1	1	1	1	1	
FK22	仕上げ(機械組立仕上げ作業)	1	1	1	1	1	1	
FK23	機械検査(機械検査作業)	1	1	1	1	1	1	
FK24	ダイカスト(ホットチャンパダイカスト作業)	1	1	1	1	1	1	
FK25	ダイカスト(コールドチャンパダイカスト作業)	1	1	1	1	1	1	
FK26	電子機器組立て(電子機器組立て作業)	1	1	1	7	1	1	
FK27	電気機器組立て(回転電機組立て作業)	1	1	1	1	1	1	
FK28	電気機器組立て(変圧器組立て作業)	1	1	1	1	1	1	
FK29	電気機器組立て(配電盤・制御盤組立て作業)	1	1	1	1	1	1	
FK30	電気機器組立て(開閉制御器具組立て作業)	1	1	1	1	1	1	
FK31	電気機器組立て(回転電機巻線製作作業)	1	1	1	1	1	1	

(令和6年度公開用) 随時実施分 実技・学科試験問題 ※令和6年5月以降に公開予定

等級欄の数字は、公開問題のパターン数を表す

※ご希望のものに○をつけてください。○

記号	職種・作業	実技			学科			申込部数
		基礎級	随時3級	随時2級	基礎級	随時3級	随時2級	
FK32	プリント配線板製造(プリント配線板設計作業)	1	1	1	1	1	1	
FK33	プリント配線板製造(プリント配線板製造作業)	1	1	1	1	1	1	
FK34	冷凍空調和機器施工(冷凍空調和機器施工作業)	1	1	1	1	1	1	
FK35	染色(糸浸染作業)	1	1	1	1	1	1	
FK36	染色(織物・ニット浸染作業)	1	1	1	1	1	1	
FK37	ニット製品製造(丸編みニット製造作業)	1	1	1	1	1	1	
FK38	ニット製品製造(靴下製造作業)	1	1	1	1	1	1	
FK39	婦人子供服製造(婦人子供既製服縫製作業)	1	1	1	7	3	1	
FK40	紳士服製造(紳士既製服製造作業)	1	1	1	7	2	1	
FK41	寝具製作(寝具製作作業)	1	1	1	1	1	1	
FK42	帆布製品製造(帆布製品製造作業)	1	1	1	6	2	1	
FK43	布はく縫製(ワイシャツ製造作業)	1	1	1	1	1	1	
FK44	家具製作(家具手加工作業)	1	1	1	6	1	1	
FK45	建具製作(木製建具手加工作業)	1	1	1	1	1	1	
FK46	紙器・段ボール箱製造(印刷箱打抜き作業)	1	1	1	1	1	1	
FK47	紙器・段ボール箱製造(印刷箱製箱作業)	1	1	1	1	1	1	
FK48	紙器・段ボール箱製造(貼箱製造作業)	1	1	1	1	1	1	
FK49	紙器・段ボール箱製造(段ボール箱製造作業)	1	1	1	1	1	1	
FK50	印刷(オフセット印刷作業)	1	1	1	1	1	1	
FK51	製本(製本作業)	1	1	1	3※2	1	1	
FK52	プラスチック成形(圧縮成形作業)	1	1	1	7	1	1	
FK53	プラスチック成形(射出成形作業)	1	1	1	7	2	1	
FK54	プラスチック成形(インフレーション成形作業)	1	1	1	1	1	1	
FK55	プラスチック成形(ブロー成形作業)	1	1	1	1	1	1	
FK56	強化プラスチック成形(手積み積層成形作業)	1	1	1	1	1	1	
FK57	石材施工(石材加工作業)	1	1	1	1	1	1	
FK58	石材施工(石張り作業)	1	1	1	1	1	1	
FK59	パン製造(パン製造作業)	1	1	1	1	1	1	
FK60	ハム・ソーセージ・ベーコン製造(ハム・ソーセージ・ベーコン製造作業)	1	1	1	6	2	1	
FK61	水産練り製品製造(かまぼこ製品製造作業)	1	1	1	6	1	1	
FK62	建築大工(大工工事作業)	1	1	1	6	1	1	
FK63	かわらぶき(かわらぶき作業)	1	1	1	1	1	1	
FK64	とび(とび作業)	1	1	1	7	1	1	
FK65	左官(左官作業)	1	1	1	1	1	1	
FK66	築炉(築炉作業)	1	1	1	1	1	1	
FK67	タイル張り(タイル張り作業)	1	1	1	1	1	1	
FK68	配管(建築配管作業)	1	1	1	1	1	1	
FK69	配管(プラント配管作業)	1	1	1	1	1	1	
FK70	型枠施工(型枠工事作業)	1	1	1	6	1	1	
FK71	鉄筋施工(鉄筋組立て作業)	1	1	1	7	1	1	
FK72	コンクリート圧送施工(コンクリート圧送工事作業)	1	1	1	1	1	1	
FK73	防水施工(シーリング防水工事作業)	1	1	1	1	1	1	
FK74	内装仕上げ施工(プラスチック系床仕上げ工事作業)	1	1	1	1	1	1	
FK75	内装仕上げ施工(カーペット系床仕上げ工事作業)	1	1	1	1	1	1	
FK76	内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業)	1	1	1	1	1	1	

随時2級 計画立案等作業試験問題
公開用問題 有

(令和6年度公開用) 随時実施分 実技・学科試験問題 ※令和6年5月以降に公開予定

等級欄の数字は、公開問題のパターン数を表す

※ご希望のものに○をつけてください。○

記号	職種・作業	実技			学科			申込 部数
		基礎 級	随時 3級	随時 2級	基礎 級	随時 3級	随時 2級	
FK77	内装仕上げ施工(ボード仕上げ工事作業)	1	1	1	1	1	1	
FK78	内装仕上げ施工(カーテン工事作業)	1	1	1	6	1	1	
FK79	熱絶縁施工(保温保冷工事作業)	1	1	1	1	1	1	
FK80	サッシ施工(ビル用サッシ施工作業)	1	1	1	1	1	1	
FK81	ウエルポイント施工(ウエルポイント工事作業)	1	1	1	1	1	1	
FK82	表装(壁装作業)	1	1	1	1	1	1	
FK83	塗装(建築塗装作業)	1	1	1	1	1	1	
FK84	塗装(金属塗装作業)	1	1	1	7	1	1	
FK85	塗装(鋼橋塗装作業)	1	1	1	1	1	1	
FK86	塗装(噴霧塗装作業)	1	1	1	7	1	1	
FK87	工業包装(工業包装作業)	1	1	1	6	1	1	
合計								

※1 平成30年度までは、鑄造(銅合金鑄物鑄造作業)として1パターン、鑄造(軽合金鑄物鑄造作業)として1パターンを公開していたもの。
作業統合により、平成31年度以降は鑄造(非鉄金属鑄物鑄造作業)として2パターンの公開用試験問題として提供。

※2 平成30年度までは、製本(書籍製本作業)として1パターン、製本(雑誌製本作業)として1パターン、製本(商業印刷物製本作業)として1パターンを公開していたもの。
作業統合により、平成31年度以降は製本(製本作業)として3パターンの公開用試験問題として提供。

金属プレス作業用金型 貸出し要領

滋賀県職業能力開発協会

1. 金型は、基礎級・随時3級・随時2級、金属プレス作業試験実施時に貸出しする。
2. 金型は、1の試験の実施以外の目的に使用してはならない。
3. 貸出し料は無料とする。ただし、車への積み降ろしを含め、金型の運搬については、貸出しを受ける者が行うこと。重量物なので取り扱いに十分な配慮をすること。
4. 金型の貸出しを希望するときは、試験日程調整時に申し出を行い、予約をしたうえで、「借用願」を「技能検定申請書」と同時に滋賀県職業能力開発協会（以下「当協会という。」）へ提出し、「許可書」の交付を受け、この要領に従って使用すること。
5. 金型の受け取り場所は当協会とする。
6. 金型の受け渡しにあたっては、借用者（これから金型を借用しようとする者）は当協会の発行した許可書を提示し、金型を確認すること。
7. 借用者は当協会に返却するまで適正に金型を保管すること。
8. 借用期間中に金型を破損、紛失等した場合は、速やかに当協会へ連絡の上、借用者の責により弁償すること。
9. 返却をする際には、貸出しを受けた状態で返却すること。

課長	合議	担当者

借 用 願

令和 年 月 日

滋賀県職業能力開発協会 宛

下記のとおり借用を申し込みます。

物品	金属プレス作業用金型一式		
使用目的	基礎級・随時3級・随時2級技能検定 金属プレス加工（金属プレス作業）実技試験用		
試験実施日	令和 年 月 日（ ） 時 分		
借用期間	令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日		
使用場所 (名称及び所在地)			
使用者 (願出者)	住 所 事業所・団体名 代表者氏名 電 話		㊟
連絡先 ※担当者・電話番号等			

【協会使用欄】

引渡日	受取者	返却日	返却者

許 可 書

金型番号

令和 年 月 日

御中

滋賀県職業能力開発協会 ㊟

金属プレス作業用金型一式の借用を許可します。

【物品の貸出し期間】 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日

【金型の引渡・返却場所等】

滋賀県職業能力開発協会 滋賀県大津市南郷五丁目2番14号 TEL 077-533-0850

時 間 9:00～11:30・13:00～16:30

**技能検定試験報告書兼
技能検定委員手当請求書**

令和 年 月 日

(あて先)
滋賀県職業能力開発協会

〒
住 所 _____
T E L _____
検定委員 _____
氏 名 _____ (印)

下記のとおり実施した技能検定試験の結果を報告するとともに、技能検定委員手当を請求します。
記

試験実施結果

試験実施日 及び会場	1900年1月0日(土)	0時00分 ~ 時 分 まで
監理団体等名称	0	
技能実習受入企業名	0	
検定職種(作業名)	0 職種	0 作業
受検項目・人数	実技 0 名	

技能検定委員手当請求額

4時間未満	@ 8,000 円×	日		円
4時間以上	@ 10,000 円×	日		円
8時間を超える	@ 15,000 円×	日		円

※交通費含む

振込口座

金融機関名	銀行・信用金庫・信用組合・農協		本店・支店 本所・支所・出張所
預金の種類	1. 普通(総合口座) ○	2. 当座	
口座番号	番号は右づめでご記入ください。		
口座名義	フリガナ	預金通帳に記載されているとおりにご記入ください。 30文字まで登録できます。	
	漢字		

(注) 預金通帳をご覧のうえ、正確にご記入ください。なお、貯蓄預金への振込みのご指定はできませんのでご注意ください。

令和6年度 随時2・3級・基礎級 中央斡旋材料等一覧

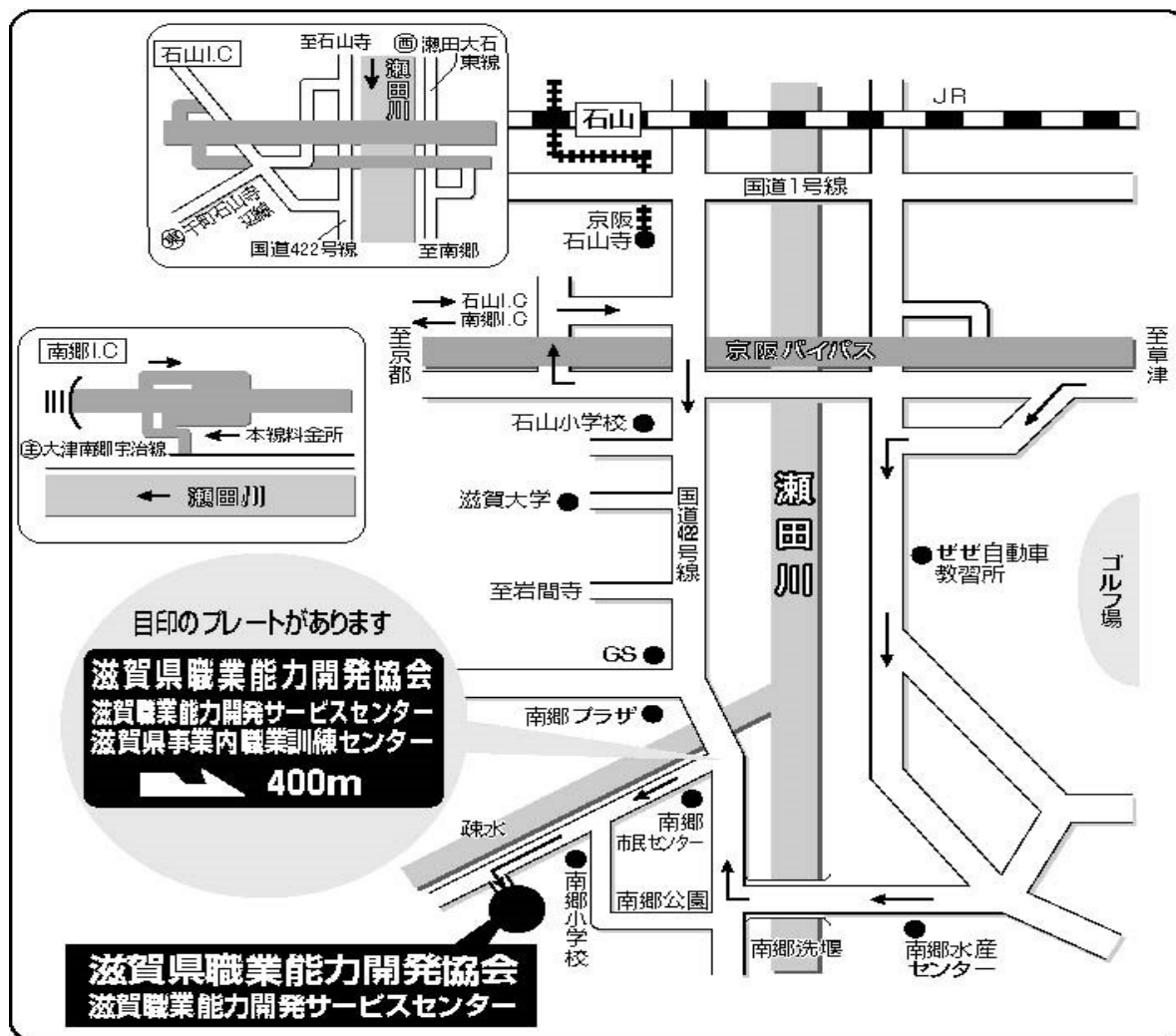
職種名等	等級	斡旋材料等	留意事項等	斡旋先	
F3 铸造 (铸铁铸件铸造作业)	随時2級	アルミ型	試験実施日より1ヶ月前までに申し込んでください。 別途申込書により注文してください。	一般社団法人日本铸造協会 担当 総務グループ	〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館501号室
F3・4 铸造 (铸铁铸件铸造作业) (非鉄金属铸件铸造作业)	随時3級	樹脂型	試験実施日より1ヶ月前までに申し込んでください。 別途申込書により注文してください。 ※基礎級の型については斡旋はしておりません。		TEL 03-3432-2991 FAX 03-3433-7498
F17 めっき (電気めっき作業)	随時2級 随時3級	鋼板	試験実施日より2～1ヶ月前までに申し込んでください。 別途申込書により注文してください。	東京都鍍金工業組合 担当 宮部 氏	〒113-0034 東京都文京区湯島1-11-10 TEL 03-3814-5621 FAX 03-3816-6166
	随時2級	治具材料	試験実施日より2～1ヶ月前までに申し込んでください。 別途申込書により注文してください。	愛知県鍍金工業組合 担当 久野 氏	〒456-0058 愛知県名古屋市熱田区六番3丁目4-41 名古屋市工業研究所内 TEL 052-659-6112 FAX 052-659-6113
FK19 アルミニウム陽極酸化処理 (陽極酸化処理作業)	随時2級 随時3級 基礎級	支給材料	別途申込書により注文してください。	一般社団法人軽金属製品協会 試験研究センター 担当 廣原 氏	〒302-0034 茨城県取手市戸頭9-18-3 TEL 0297-78-2511 FAX 0297-78-2278
	随時2級 随時3級 基礎級		試験場の相談に応じます。	一般社団法人軽金属製品協会 試験研究センター 担当 廣原 氏	〒302-0034 茨城県取手市戸頭9-18-3 TEL 0297-78-2511 FAX 0297-78-2278
FK26 電子機器組立て (電子機器組立て作業)	随時3級 基礎級	支給材料	試験実施日の3週間前までにネット通販サイトでご注文ください。 (1週間以内に宅配便でお届け。)支払は、代金引換、クレジットカード、銀行振込(前払い)など。 申し込み形態は以下のとおり。 <基礎級> Aセット 支給材料一式(1セット5回分) Bセット 支給材料のうちプリント配線板のみ(5枚単位) <随時3級> M2404-A 支給材料一式(1セット1回分) M2404-B 消耗品セット(1回分単位) ※電子部品については製造中止になった場合等、相当品に変更することがあります。	株式会社三機 インターネット販売部門	〒456-0035 愛知県名古屋市熱田区白鳥1-4-1 TEL 052-681-2163 e-mail: e-monozo@sanki1948.com http://www.e-monozo.com/ (ネット通販サイト: モノづくり支援サイト・モノ蔵)
F39 婦人子供服製造 (婦人子供既製服縫製作業)	随時2級	材料(表生地)	発送は、ゴールデンウィーク、年末年始を除き、お申し込み後1週間から10日程度が必要です。 別途ご注文書により注文してください。	アパレル・ソーイング協同組合連合会 担当 事務局長 吉田 氏	〒113-0021 東京都文京区本駒込6-2-19 TEL 03-5981-8968 FAX 03-5981-8284
F39 婦人子供服製造 (婦人子供既製服縫製作業)	随時3級	材料(表生地)			
K39 婦人子供服製造 (婦人子供既製服縫製作業)	基礎級	シート			
K40 紳士服製造 (紳士既製服縫製作業)					
K43 布はく縫製 (ワイシャツ製造作業)					

職種名等	等級	斡旋材料等	留意事項等	斡旋先	
F46 紙器・段ボール箱製造 (印刷箱打抜き作業)	随時2級	抜型、抜型製 作用フィルム、 打ち抜き用紙	試験実施日より1ヶ月前までに申し込んでください。 別途申込書により注文してください。	全日本紙器段ボール箱工業組 合連合会 担当 紫藤 氏	〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-2-4 第6高輪ビル301号 TEL 03-3552-6531 FAX 03-3552-6532
FK46 紙器・段ボール箱製造 (印刷箱打抜き作業)	随時3級 基礎級	支給材料			
F47 紙器・段ボール箱製造 (印刷箱製箱作業)	随時2級	生地			
FK47 紙器・段ボール箱製造 (印刷箱製箱作業)	随時3級 基礎級	支給材料			
F48 紙器・段ボール箱製造 (貼箱製造作業)	随時2級	身・ふた生地、く るみ紙			
FK48 紙器・段ボール箱製造 (貼箱製造作業)	随時3級 基礎級	支給材料			
F49 紙器・段ボール箱製造 (段ボール箱製造作業)	随時2級	印版			
FK49 紙器・段ボール箱製造 (段ボール箱製造作業)	随時3級 基礎級	支給材料			
F51 製本 (製本作業)	随時2級	試験用材料(用 紙及び印刷物)	通常、注文から10日以内に発送します。 別途申込書により注文してください。	全日本製本工業組合連合会	〒173-0012 東京都板橋区大和町28-11 TEL 03-5248-2451 FAX 03-5248-2455
K52 プラスチック成形 (圧縮成形作業)	基礎級	測定用成形品	試験実施日より1ヶ月前までに申し込んでください。 別途ご注文書により注文してください。	全日本プラスチック製品工業連 合会	〒104-0045 東京都中央区築地3-12-5 FAX 03-3541-4324
FK53 プラスチック成形 (射出成形作業)	随時2級 随時3級 基礎級	測定用成形品			
FK55 プラスチック成形 (ブロー成形作業)	随時3級 基礎級	測定用成形品			
F59 パン製造 (パン製造作業)	随時2級	食型	試験実施日より2ヶ月前までに申し込んでください。 別途ご注文書により注文してください。	川口板金株式会社 担当 営業担当	〒334-0076 埼玉県川口市本蓮4-2-32 TEL 048-282-0871 FAX 048-283-2660
F65 左官 (左官作業)	随時2級	α型既調合薄 塗りせつこうプ スター(特注 品：白色)	別途申込書により申し込んでください。 なお、以下の通り、特にご留意ください。 ① 試験材料の申込みは、納品まで1週間～1ヶ月程 度を要するので早めに申し込んでください。 (一度FAXやメールで注文を行った場合、注文用紙 の原本の送付は不要です。2重手配の防止のため) ② 至急・早め等の具体的な納品日の記入がない場合 や漏れがある場合には、手配を行いません。また、ごち らから連絡も行いませんのでご了承願います。 ③ 日曜日及び祝日の納品は出来ません。(納品希望 日が日曜日等の納品が出来ない日を指定された場 合には、翌日以降の平日もしくは土曜日の配送日に 自動的に変えさせていただきます。) ④ 試験材料の送料につきましては、元払いのみとなりま す。それ以外の方法は引き受けできませんのでご注意 ください。 ⑤ 試験材料費及び送料の請求書は、後日別便で送 付いたしますので、受け取り後、代金から振込手数料 を差し引かず1週間以内にお支払ください。 ⑥ 試験材料の申し込み数は、できる限り都道府県単位 でまとめてお申し込みください。	一般社団法人日本左官業組合 連合会	〒162-0841 東京都新宿区弘方町25-3 TEL 03-3269-0560 FAX 03-3269-3219 Email : sakan@jeans.ocn.ne.jp

職種名等	等級	斡旋材料等	留意事項等	斡旋先	
FK73 防水施工 (シーリング防水工事業)	随時2級 随時3級 基礎級	支給材料 試験架台	試験実施日より1ヶ月半前までに電話で申し込んでください。	日本シーリング工事業協同組合 連合会 担当 柴田 氏	〒135-0034 江東区永代2丁目33-6 有沢ビル2F TEL 03-3643-7901
F81 ウェルポイント施工 (ウェルポイント工事業)	随時2級	小型 ノッチタンク、仮想観測井(短管)、水位測定器	試験実施日より45日前までに申し込んでください。材料はレンタル品となります。使用後はご返却ください。別途申込書により注文してください。	一般社団法人日本ウェルポイント協会 担当 会長 藤田 氏	〒160-0003 東京都新宿区四谷本塩町14-1 第2田中ビル9階 TEL 03-3226-6221 FAX 03-3226-6330
F82 表装 (壁装作業)	随時2級	支給材料	試験実施日より2ヶ月程度前までに申し込んでください。別途申込書により注文してください。	ルノン株式会社 担当 秋本 氏	〒143-0001 東京都大田区東海 1-3-6 プロシスパーク東京大田N棟2階 TEL 03-6757-3425 FAX 03-5755-1688

会場のご案内

- ◎会場名 滋賀県職業能力開発協会
◎所在地 〒520-0865 滋賀県大津市南郷 5-2-14
◎電話番号 077-533-0850



【 交通案内 】

- ・ JR 石山駅から京阪バス(新浜、大石、外畑行)15分。南郷一丁目下車徒歩5分。
- ・ 京阪電車石山・坂本線石山寺から京阪バス(新浜、大石、外畑行)7分。南郷一丁目下車徒歩5分。(時刻表は土日祝日運転に注意ください。)
- ・ 京阪バイパスを利用される場合、石山 I.C から5~6分。南郷 I.C から5~7分。

【 その他 】

- ・ 駐車場あり(100台収容可)
- ・ 会場には、食堂がございませんので、昼食が必要な方は各自でご用意願います。